B5FJ-0501-02

FMV BIBLO

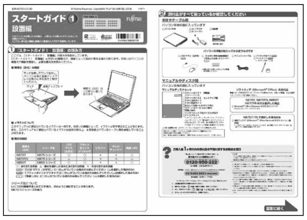
MG75T, MG75TN, MG55T, MG55TN,
MG50T/V, MG50TN/V, MG50T, MG50TN

FMV取扱ガイド

FUJITSU

冊子のマニュアル

スタートガイド（1 設置編　2 セットアップ編）





使い始めるまでの準備はこれでバッチリ

- ●『スタートガイド1　設置編』
- ●『スタートガイド2　セットアップ編』

FMV活用ガイド



- ●画面上での基本的な使い方
- ●ＦＭＶのおすすめ活用法
- ●画面マニュアルの使い方
- ●マイリカバリ
- ●バックアップ
- ●トラブル解決Q&A
- ●リカバリ（ご購入時の状態に戻す）
- ●廃棄・リサイクル

FMVで見る・録る・残すガイド



テレビチューナー内蔵機種に添付

- ●テレビについて
  - ・テレビの見かた
  - ・録画のしかた
  - ・保存のしかた
- ●テレビなどに関するQ&A

FMV取扱ガイド



- ●各部の名称と働き
- ●パソコンの取り扱い
  - ・電源の入れ方/切り方
  - ・音量の調整
  - ・輝度の調整　etc.
- ●周辺機器の設置/設定/増設
- ●お手入れ
- ●仕様一覧

サポート&サービスのご案内



- ●ユーザー登録・特典
- ●AzbyClubのご案内
- ●困ったときは
- ●故障かな？ と思ったときは
- ●お問い合わせ先
- ●操作指導サービス
- ●お問い合わせ票/修理依頼票

画面で見るマニュアル

説明している主な内容

- ●パソコンの基本
- ●セキュリティ対策
- ●インターネット／Eメール
- ●ＦＭＶ使いこなし事例集
- ●パソコン本体の取り扱い
- ●周辺機器の接続
- ●添付ソフトウェア一覧
- ●困ったときのQ&A

etc.



画面で見るマニュアルの始め方

1「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→
「富士通サービスアシスタント（マニュアル&サポート）」の順にクリック

2「画面で見るマニュアル」をクリック

テクニカルコミュニケーター協会が定める
「画面で見るマニュアル標準マーク」です。

参照の探し方

冊子のマニュアルの本文内に、≫「＊＊＊＊＊＊（文書番号）」とある場合は、「画面で見るマニュアル」で検索してご覧ください。

参照

文書番号：≫の横にある6桁の数字

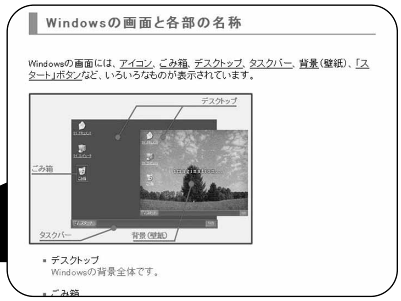
▼Windows の画面について
『画面で見るマニュアル』≫「920010」で検索
→「Windows の画面と各部の名称」



文書番号（6桁の数字）を入力して「検索する」をクリック

❶「検索」をクリック
❷ 文書番号（6桁の数字）を入力
❸「検索する」をクリック

文書番号の内容が表示



「目次」、「検索」、「索引」など、他にもいろいろな探し方があります。
「画面で見るマニュアル」について詳しくは、『FMV活用ガイド』の「パソコンの画面で見るマニュアルを活用する」をご覧ください。

目次

この本で見つからない情報は、「画面で見るマニュアル」で！

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→
「富士通サービスアシスタント（マニュアル＆サポート）」の「画面で見るマニュアル」

画面で見るマニュアル　添付の冊子マニュアル ▶▶▶ このマニュアルの巻頭でご案内しています。

安全にお使いいただくために

本製品には『安心してお使いいただくために』というマニュアルが添付されています。本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。
お使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。
また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

このマニュアルの表記について

画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種によって、画面およびイラストが若干異なることがあります。また、このマニュアルに表記されているイラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

安全にお使いいただくための絵記号について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

⚠	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
⊘	⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
❗	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

本文中の記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

重要	お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
POINT	操作に関連することを表しています。必要に応じてお読みください。
	参照先を記述しています。
	冊子のマニュアルを記述しています。
	画面で見るマニュアルを表しています。 (起動方法について、このマニュアルの巻頭でご案内しています。)
	CD-ROM/DVD-ROM を表しています。

パソコンの電源状態について

このマニュアルではパソコンの電源を入れたときの状態を、それぞれ次のように表記しています。

パソコンの状態	このマニュアルでの表記
Windows XP Home Edition、または Windows XP Professional が起動している状態。	Windows が起動しているとき

製品などの呼び方について

このマニュアルでは製品名称などを、次のように略して表記しています。

正式名称	このマニュアルでの表記
Microsoft® Windows® XP Home Edition	Windows XP Home Edition または Windows
Microsoft® Windows® XP Professional	Windows XP Professional または Windows
情報処理機器の省エネルギー化推進に関する法律	省エネ法
スーパーマルチドライブ、CD-RW/DVD-ROM ドライブ	CD/DVD ドライブ
StationMobile$_{TM}$ for FMV	StationMobile
富士通サービスアシスタント V3.6	サービスアシスタント
xD-Picture Card™	xD- ピクチャーカード
ExpressCard™/34 モジュール ExpressCard™/54 モジュール	ExpressCard

商標および著作権について

Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
インテル、Intel、インテル Core、Celeron および Centrino は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。
Bluetooth は、Bluetooth SIG の商標であり、弊社へライセンスされています。
xD-Picture Card™、xD- ピクチャーカード ™ は富士写真フイルム株式会社の商標です。
「メモリースティック」、「メモリースティック PRO」、「メモリースティック Duo」、「メモリースティック PRO Duo」、「マジックゲート」は、ソニー株式会社の商標です。
SD カードおよび SD ロゴは、SD ASSOCIATION の商標です。
ExpressCard™、ExpressCard™ ロゴは、Personal Computer Memory Card International Association（PCMCIA）の商標で、富士通へライセンスされています。
その他の各製品名は、各社の商標または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。

画面の使用に際して米国 Microsoft Corporation の許諾を得ています。

ドルビー、DOLBY、ダブル D 記号、AC-3 およびプロロジックはドルビーラボラトリーズの商標です。

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

1

第 1 章

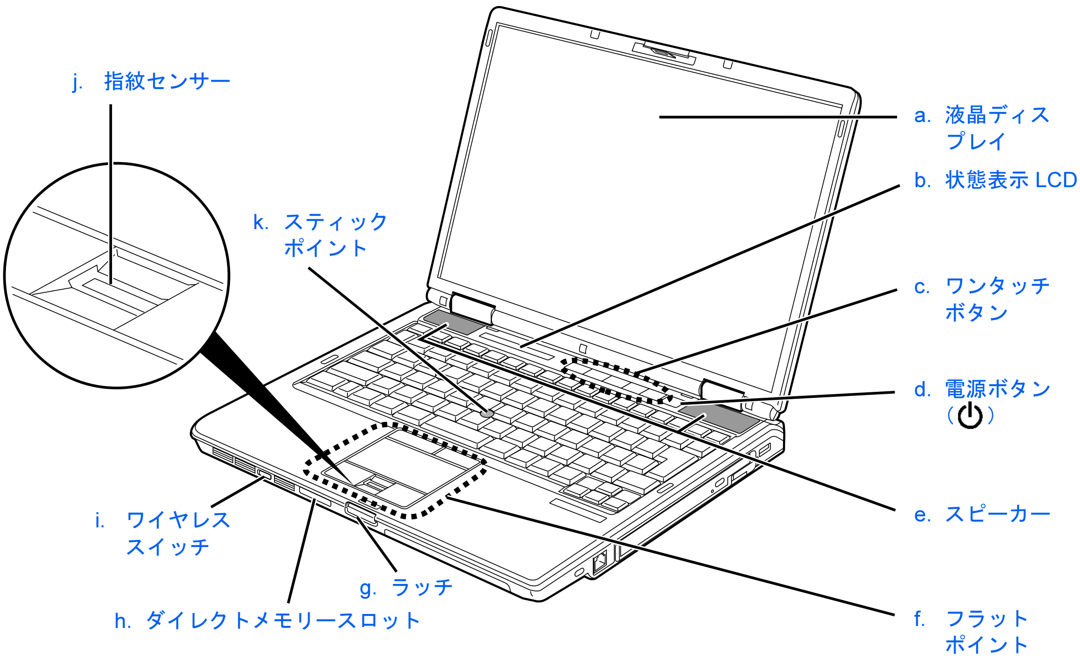
各部の名称と働き

パソコンの各部の名称と働きについて説明しています。

1 パソコン本体前面

ここでは、代表的な機能を説明しています。

■ MG75 シリーズの場合



a. **液晶ディスプレイ**
パソコンの画面を表示します。

b. **状態表示 LCD（••▶P.18）**
パソコンの状態が表示されます。

c. **ワンタッチボタン（••▶P.40）**
ソフトウェアを起動したり、音楽CDやDVD-VIDEOを再生したりするボタンです。

d. **電源ボタン**
パソコンの電源を入れたり、スタンバイ（中断）／レジューム（回復）させるためのボタンです。

e. **スピーカー**
パソコンの音声が出力されます。

f. **フラットポイント（••▶P.34）**
マウスポインタを操作します。

g. **ラッチ**
液晶ディスプレイを開くときは、ラッチを押してロックを外します。

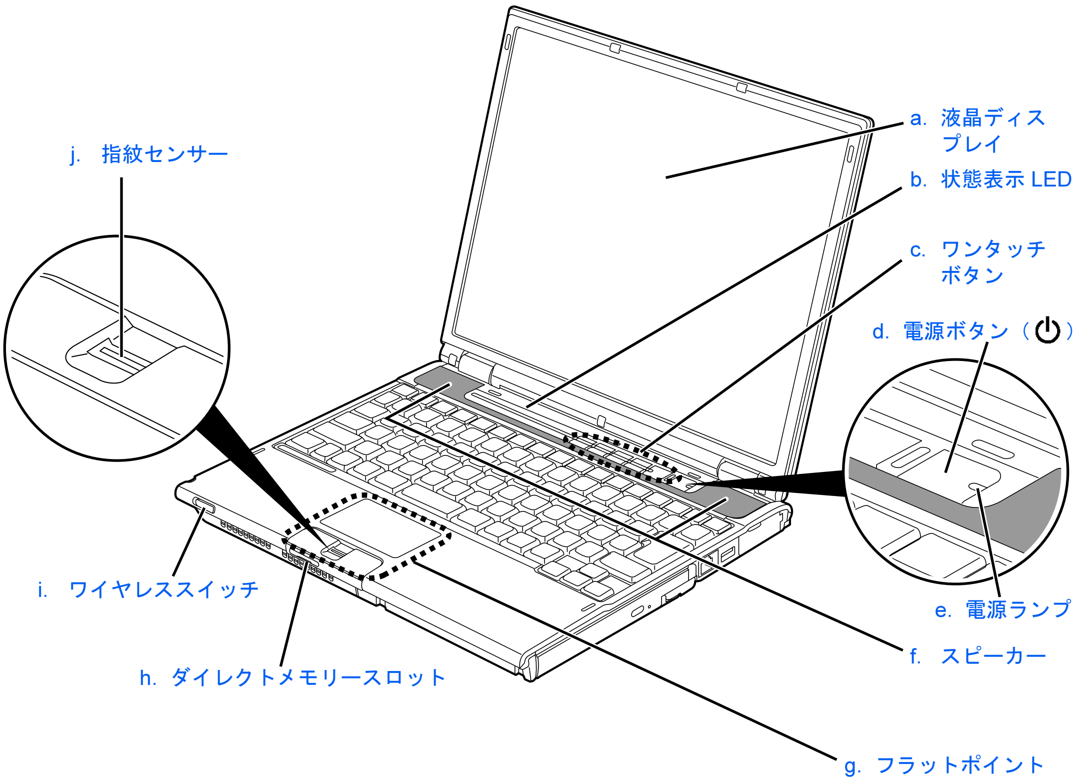
h. **ダイレクトメモリースロット（••▶P.48）**
SD メモリーカード、メモリースティック、xD- ピクチャーカードをセットするためのスロットです。miniSD カードやメモリースティック Duo などは、アダプタを使用してください。

i. **ワイヤレススイッチ**
無線 LAN ／ Bluetooth ワイヤレステクノロジーの電波の発信状態を切り替えます。

j. **指紋センサー（••▶P.59）**
指をスライドすることで指紋を読み取って Windows のログオンなどができるようになります。また、画面をスクロールさせることもできます。

k. **スティックポイント（••▶P.34）**
マウスポインタを操作します。

■MG55/50 シリーズの場合



a. **液晶ディスプレイ**
パソコンの画面を表示します。

b. **状態表示 LED（→P.19）**
パソコンの状態が表示されます。

c. **ワンタッチボタン（→P.40）**
ソフトウェアを起動したり、音楽CDやDVD-VIDEOを再生したりするボタンです。

d. **電源ボタン**
パソコンの電源を入れたり、スタンバイ（中断）／レジューム（回復）させるためのボタンです。

e. **電源ランプ**
パソコンの電源が入っているときに青く点灯します。

f. **スピーカー**
パソコンの音声が出力されます。

g. **フラットポイント（→P.34）**
マウスポインタを操作します。

h. **ダイレクトメモリースロット（→P.48）**
SD メモリーカード、メモリースティック、xD- ピクチャーカードをセットするためのスロットです。miniSD カードやメモリースティック Duo などは、アダプタを使用してください。

i. **ワイヤレススイッチ**
無線 LAN の電波の発信状態を切り替えます。

j. **指紋センサー（→P.59）**
指をスライドすることで指紋を読み取ってWindows のログオンなどができるようになります。また、画面をスクロールさせることもできます。

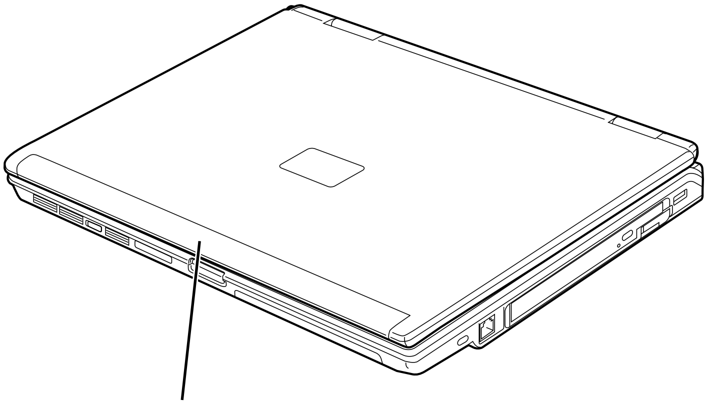
パソコン本体前面の各部の名称と働きについて、詳しい説明は次のマニュアルをご覧ください。

参照

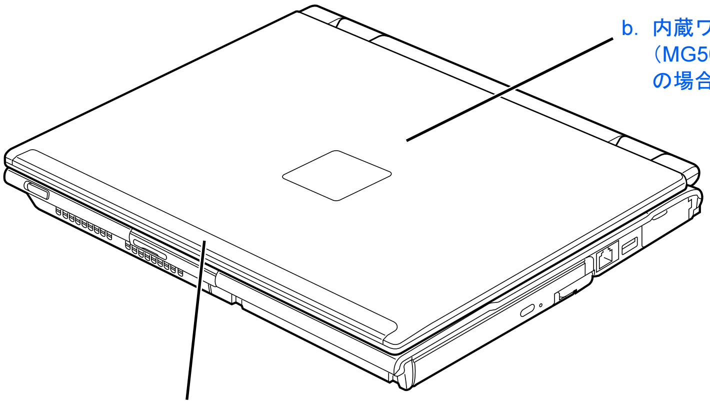
『画面で見るマニュアル』»「000270」で検索
→「各部の名称と働き：パソコン本体前面」

2 パソコン本体上面

■MG75 シリーズの場合



■MG55/50 シリーズの場合



a. **内蔵無線 LAN アンテナ**
無線 LAN 用のアンテナが内蔵されています。

b. **内蔵ワンセグアンテナ**
ワンセグ放送を受信するためのアンテナです。液晶ディスプレイの背面に内蔵されています。

パソコン本体上面の各部の名称については、次のマニュアルでも説明しています。

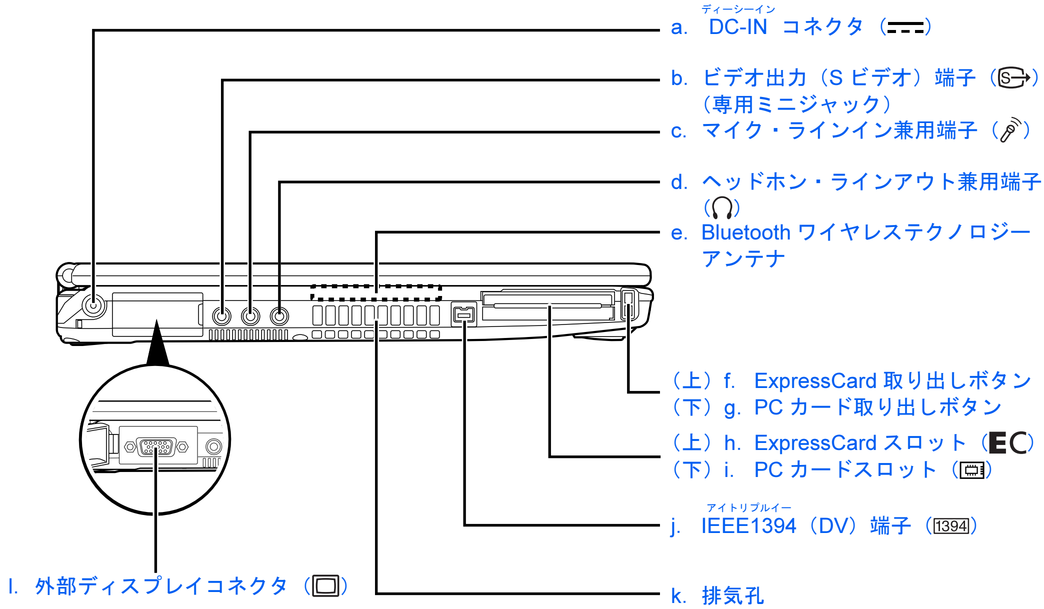
参照

『画面で見るマニュアル』»「000260」で検索
→「各部の名称と働き：パソコン本体上面」

3 パソコン本体側面

パソコン本体左側面

■MG75 シリーズの場合



a. **DC-IN コネクタ**
添付の AC アダプタを接続するためのコネクタです。

b. **ビデオ出力（S ビデオ）端子（専用ミニジャック）**
テレビにパソコンの映像を表示するための端子です。別売の S 端子変換ケーブルを使って、テレビの S 映像入力端子と接続します。

c. **マイク・ラインイン兼用端子**
市販のマイクを接続することができます（外径 3.5mm のミニプラグに対応）。また、設定を変更することにより、ライン入力端子として使用することもできます。

d. **ヘッドホン・ラインアウト兼用端子**
市販のヘッドホンを接続することができます（外径 3.5mm のミニプラグに対応）。また、設定を変更することにより、ライン出力端子として使用することもできます。

e. **Bluetooth ワイヤレステクノロジーアンテナ**
Bluetooth ワイヤレステクノロジーアンテナが内蔵されています。

f. **ExpressCard 取り出しボタン**
ExpressCard を取り出すときに押します。

g. **PC カード取り出しボタン**
PC カードを取り出すときに押します。

h. **ExpressCard スロット**
ExpressCard をセットするためのスロットです。

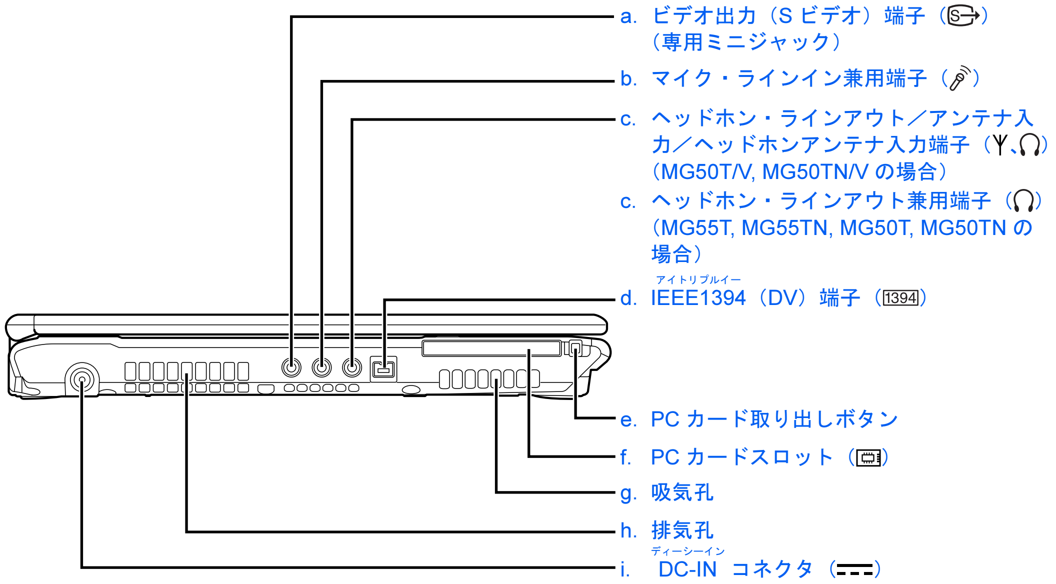
i. **PC カードスロット**
PC カードをセットするためのスロットです。

j. **IEEE（アイトリプルイー）1394（DV）端子**
デジタルビデオカメラ（DVC）や IEEE1394 規格の周辺機器を接続するための端子です。

k. **排気孔**
パソコン本体内部の熱を外部に逃がすためのものです。

l. **外部ディスプレイコネクタ**
別売のアナログディスプレイなど、外部ディスプレイを接続するためのコネクタです。

■MG55/50 シリーズの場合



a. **ビデオ出力（S ビデオ）端子（専用ミニジャック）**
テレビにパソコンの映像を表示するための端子です。別売の S 端子変換ケーブルを使って、テレビの S 映像入力端子と接続します。

b. **マイク・ラインイン兼用端子**
市販のマイクを接続することができます（外径 3.5mm のミニプラグに対応）。また、設定を変更することにより、ライン入力端子として使用することもできます。

c. **ヘッドホン・ラインアウト／アンテナ入力／ヘッドホンアンテナ入力端子またはヘッドホン・ラインアウト兼用端子**
・ヘッドホン・ラインアウト／アンテナ入力／ヘッドホンアンテナ入力端子
ワンセグ放送を視聴する場合に、添付のヘッドホンアンテナや RF 変換ケーブルを接続します。
市販のマイクを接続することもできます（外径 3.5mm のミニプラグに対応）。また設定を変更することにより、ライン出力端子として使用することもできます。
・ヘッドホン・ラインアウト兼用端子
市販のヘッドホンを接続することができます（外径 3.5mm のミニプラグに対応）。また、設定を変更することにより、ライン出力端子として使用することもできます。

d. **IEEE（アイトリプルイー）1394（DV）端子**
デジタルビデオカメラ（DVC）や IEEE1394 規格の周辺機器を接続するための端子です。

e. **PC カード取り出しボタン**
PC カードを取り出すときに押します。

f. **PC カードスロット**
PC カードをセットするためのスロットです。

g. **吸気孔**
空冷用ファンが空気を取り込むための穴です。

h. **排気孔**
パソコン本体内部の熱を外部に逃がすためのものです。

i. **DC-IN コネクタ**
添付の AC アダプタを接続するためのコネクタです。

パソコン本体左側面の各部の名称と働きについて、詳しい説明は次のマニュアルをご覧ください。

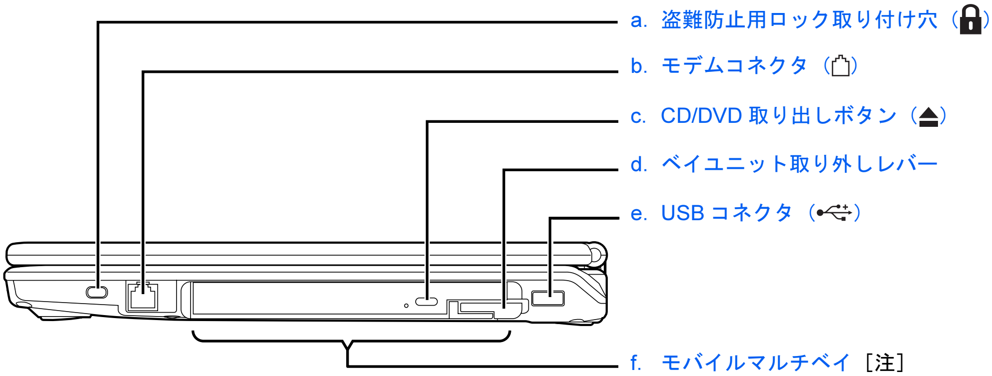
参照

『画面で見るマニュアル』»「000280」で検索
→「各部の名称と働き：パソコン本体側面」→「パソコン本体左側面」

画面で見るマニュアル　添付の冊子マニュアル ▶▶▶ このマニュアルの巻頭でご案内しています。

パソコン本体右側面

■MG75 シリーズの場合



注：選択したドライブにより、次のいずれかになります。
・CD-RW/DVD-ROM ドライブ
・スーパーマルチドライブ

a. **盗難防止用ロック取り付け穴**
市販の盗難防止用ケーブルを接続することができます。

b. **モデムコネクタ**
インターネットをするとき、添付のモジュラーケーブルを使ってパソコン本体と電話回線を接続するためのコネクタです。

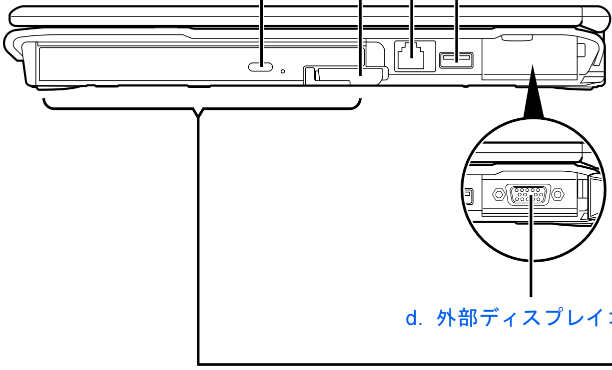
c. **CD/DVD 取り出しボタン（••▶P.43）**
ディスクをセットしたり取り出したりするときに押します。パソコンの電源が入っているときに使えます。

d. **ベイユニット取り外しレバー**
モバイルマルチベイに取り付けられているユニットを取り外す場合にレバーを起こします。

e. **USB コネクタ**
デジタルカメラ、プリンタなどの USB 規格の周辺機器を接続するためのコネクタです。

f. **モバイルマルチベイ（••▶P.43）**
ご購入時は内蔵スーパーマルチドライブユニットが取り付けられています。

■MG55/50 シリーズの場合



注：選択したドライブにより、次のいずれかになります。
・CD-RW/DVD-ROM ドライブ
・スーパーマルチドライブ

a. **ベイユニット取り外しレバー**
取り付けられているユニットを取り外す場合にレバーを起こします。

b. **モデムコネクタ**
インターネットをするとき、添付のモジュラーケーブルを使ってパソコン本体と電話回線を接続するためのコネクタです。

c. **USB コネクタ**
デジタルカメラ、プリンタなどの USB 規格の周辺機器を接続するためのコネクタです。

d. **外部ディスプレイコネクタ**
別売のアナログディスプレイなど、外部ディスプレイを接続するためのコネクタです。

e. **モバイルマルチベイ（▶P.43）**
ご購入時は内蔵スーパーマルチドライブユニットが取り付けられています。

f. **CD/DVD 取り出しボタン（▶P.43）**
ディスクをセットしたり取り出したりするときに押します。パソコンの電源が入っているときに使えます。

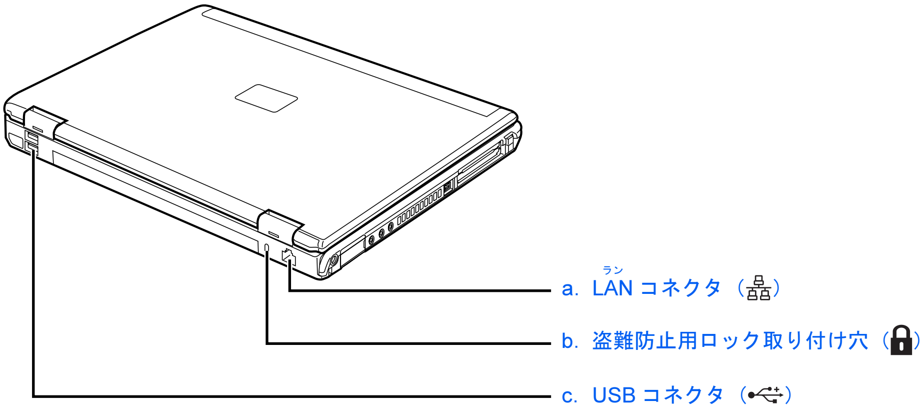
パソコン本体右側面の各部の名称と働きについて、詳しい説明は次のマニュアルをご覧ください。

参照

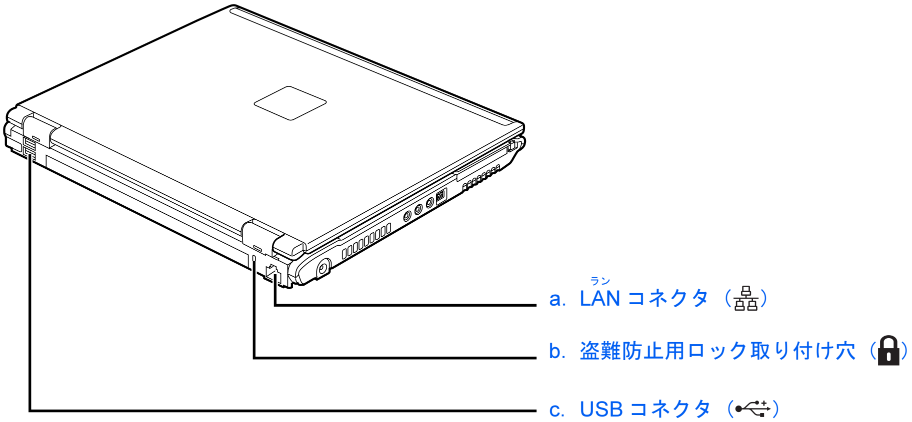
『画面で見るマニュアル』»「000280」で検索
→「各部の名称と働き：パソコン本体側面」→「パソコン本体右側面」

4 パソコン本体背面

■MG75 シリーズの場合



■MG55/50 シリーズの場合



a. **LAN コネクタ**
インターネットやホームネットワークをするとき、別売の LAN ケーブルを使って LAN に接続するためのコネクタです。

b. **盗難防止用ロック取り付け穴**
市販の盗難防止用ケーブルを接続することができます。

c. **USB コネクタ**
デジタルカメラ、プリンタなどの USB 規格の周辺機器を接続するためのコネクタです。

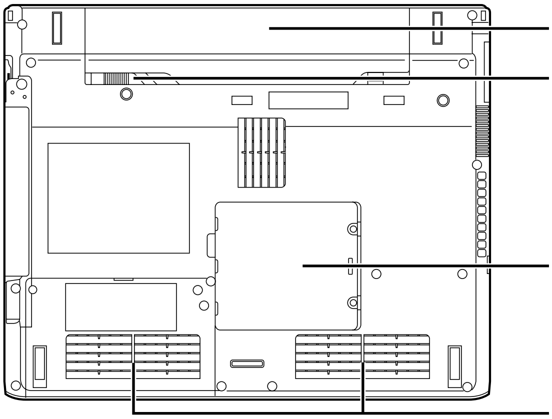
パソコン本体背面の各部の名称と働きについて、詳しい説明は次のマニュアルをご覧ください。

参照

『画面で見るマニュアル』»「000300」で検索
→「各部の名称と働き：パソコン本体背面」

5 パソコン本体下面

■MG75 シリーズの場合



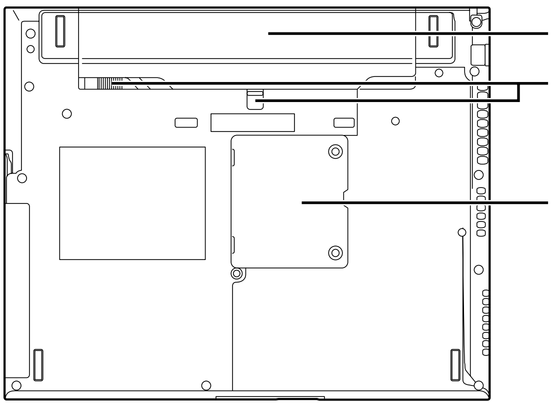
a. **内蔵バッテリパック（••▶P.32）**
内蔵バッテリパックが装着されています。

b. **内蔵バッテリパックロック（••▶P.32）**
内蔵バッテリパックを取り外すときにスライドさせます。

c. **拡張 RAM（ラム）モジュールスロット（••▶P.84）**
このパソコンのメモリが取り付けられています。

d. **吸気孔**
空冷用ファンが空気を取り込むための穴です。

■MG55/50 シリーズの場合



a. **内蔵バッテリパック（••▶P.32）**
内蔵バッテリパックが装着されています。

b. **内蔵バッテリパックロック（••▶P.32）**
内蔵バッテリパックを取り外すときにスライドさせます。

c. **拡張 RAM（ラム）モジュールスロット（••▶P.84）**
このパソコンのメモリが取り付けられています。

パソコン本体下面の各部の名称と働きについては、次のマニュアルでも説明しています。

参照

『画面で見るマニュアル』»「000250」で検索
→「各部の名称と働き：パソコン本体下面」

6 キーボード



（イラストは機種や状況により異なります）

a. **Esc キー**
現在の作業を取り消して、1 つ前に行った作業に戻るときなどに使います。

b. **ファンクションキー**
ソフトウェアごとにいろいろな機能が割り当てられます。青い刻印の機能は、Fn を押しながらそのキーを押して使います。

c. **Num Lk キー**
Num Lock を押すと、テンキーモードになります。もう一度押すと解除されます。
テンキーモードでは、イラストの「テンキーになるキー」部分がテンキー（数字を入力しやすい配列のキー）として使えるようになります。テンキーモードで入力される文字は、キーの前面に刻印されています。

d. **Delete キー**
カーソルの右側にある1文字を削除するときに使います。また、選択されているファイルやアイコン、文字列を削除します。

e. **Back Space キー**
カーソルの左側にある1文字を削除するときに使います。

f. **Enter キー**
入力した文字を確定するときなどに使います。
リターン（改行）キーともいいます。

g. **カーソルキー**
カーソルを上下左右に移動するときに使います。

h. **Fn キー**
この Fn を押しながら青い刻印のあるキーを押すと、それぞれのキーに割り当てられた機能を使用することができます。

i. **Shift キー**
Shift を押しながら文字キーを押すと、キーの上段に刻印されている文字や記号が入力できます。

j. **Caps Lock キー**
Shift を押しながら CapsLock 英数 を押すと、英大文字固定モードになります。もう 1 度押すと解除されます。

k. **半角／全角キー**
文字を入力するときに、半角と全角を切り替えます。全角にすると、日本語入力ができます。

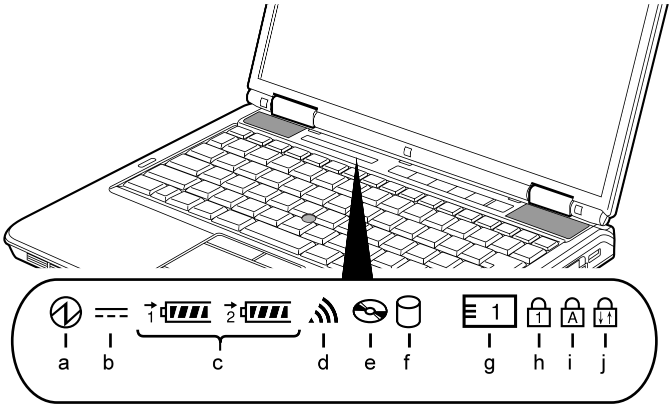
その他のキーや詳しい説明は次のマニュアルをご覧ください。

参照

『画面で見るマニュアル』»「000220」で検索
→「各部の名称と働き：キーボード」

7 状態表示 LCD

■MG75 シリーズの場合



（イラストは機種や状況により異なります）

a. **電源表示（ ）**
パソコンが動作状態のときに点灯し、スタンバイのときに点滅します。

b. **AC アダプタ表示（ ）**
AC アダプタから電源が供給されているときに点灯します。

c. **バッテリ表示（ ）**
バッテリの状態を表示します。→ が点灯しているときは充電中です。

d. **無線 LAN ／ Bluetooth ワイヤレステクノロジー表示（ ）**
ワイヤレススイッチが ON のときに点灯します。

e. **CD アクセス表示（ ）**
DVD や CD などにアクセスしているときに点灯します。

f. **ハードディスクアクセス表示（ ）**
内蔵ハードディスクにアクセスしているときに点灯します。

g. **PC カードアクセス表示（ ）**
PC カードにアクセスしているときに点灯します。

h. **Num Lock（ニューメリカルロック）表示（ ）**
キーボードがテンキーモードのときに点灯します。
【Num Lk】キー（▶P.17）

i. **Caps Lock（キャプスロック）表示（ ）**
英大文字固定モード（英字を大文字で入力する状態）のときに点灯します。
【Caps Lock】キー（▶P.17）

j. **Scroll Lock（スクロールロック）表示（ ）**
画面をスクロールしないように設定（スクロールロック）したときに点灯します。
【Fn】を押しながら【Num Lock】を押して、スクロールロックの設定と解除を切り替えます。

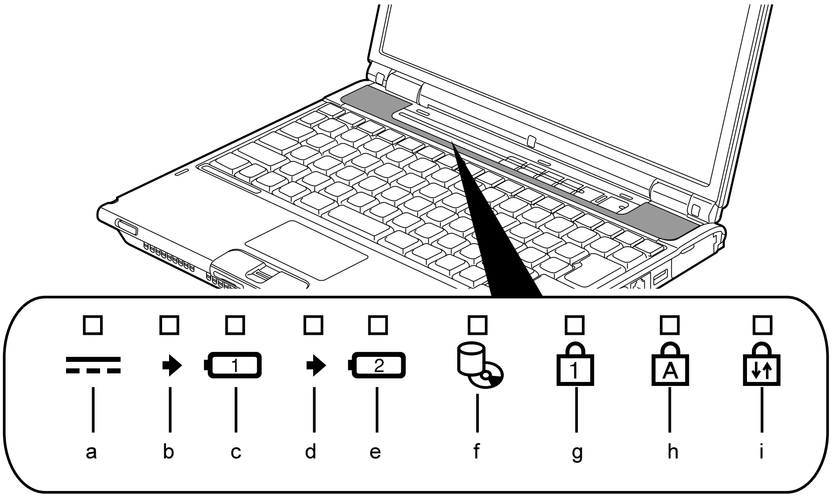
状態表示 LCD の各部の名称と働きについて、詳しい説明は次のマニュアルをご覧ください。

参照

『画面で見るマニュアル』≫「000230」で検索
→「各部の名称と働き：状態表示 LCD」

8 状態表示 LED

■MG55/50 シリーズの場合



（イラストは機種や状況により異なります）

a. **AC アダプタランプ（⎓）**
AC アダプタから電源が供給されているときに点灯します。

b. **内蔵バッテリパック充電ランプ（➡）**
パソコンに AC アダプタが接続されている場合に、内蔵バッテリパックの充電状態を表示します。

c. **内蔵バッテリパック残量ランプ（1）**
内蔵バッテリパックの残量を表示します。

d. **増設用内蔵バッテリユニット充電ランプ（➡）**
パソコンに AC アダプタが接続されている場合に、増設用内蔵バッテリユニットの充電状態を表示します。

e. **増設用内蔵バッテリユニット残量ランプ（2）**
増設用内蔵バッテリユニットの残量を表示します。増設用内蔵バッテリユニットが装着されていると点灯します。

f. **ハードディスク／CD アクセスランプ（）**
内蔵ハードディスクやCDにアクセスしているときに点灯します。

g. **Num Lock（ニューメリカルロック）ランプ（1）**
キーボードがテンキーモードのときに点灯します。
【Num Lk】キー（••▶P.17）

h. **Caps Lock（キャプスロック）ランプ（A）**
英大文字固定モード（英字を大文字で入力する状態）のときに点灯します。
【Caps Lock】キー（••▶P.17）

i. **Scroll Lock（スクロールロック）ランプ（⇅）**
画面をスクロールしないように設定（スクロールロック）したときに点灯します。
【Fn】を押しながら【Num Lock】を押して、スクロールロックの設定と解除を切り替えます。

状態表示 LED の各部の名称と働きについて、詳しい説明は次のマニュアルをご覧ください。

参照

『画面で見るマニュアル』»「000230」で検索
→「各部の名称と働き：状態表示 LED」

Memo

2

第 2 章

パソコンの取り扱い

1 電源を入れる／切る

電源の切り方と入れ方はとても重要です。正しい方法を覚えてください。

AC アダプタを接続する

AC アダプタは差し込み口の形状をよく確認して、奥までしっかりと差し込んでください。

警告

・雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまでパソコン本体やケーブル類に触れないでください。ケーブル類の接続作業は、落雷の可能性がなくなるまで行わないでください。
落雷の可能性がある場合は、あらかじめパソコン本体の電源を切り、その後電源コードをコンセントから抜き、ケーブル類を取り外しておいてください。
落雷による感電、火災の原因となります。

・AC アダプタは、このマニュアルをよく読み、正しく接続してください。
誤った接続状態でお使いになると、感電・火災の原因となります。また、パソコン本体が故障する原因となります。

POINT

AC アダプタは熱くなる場合があります

パソコンの使用中は、AC アダプタが熱くなることがありますが、異常ではありません。

1 液晶ディスプレイを開きます。

ラッチを押してロックを外し、パソコン本体と液晶ディスプレイの両方に手を添えて開けてください。

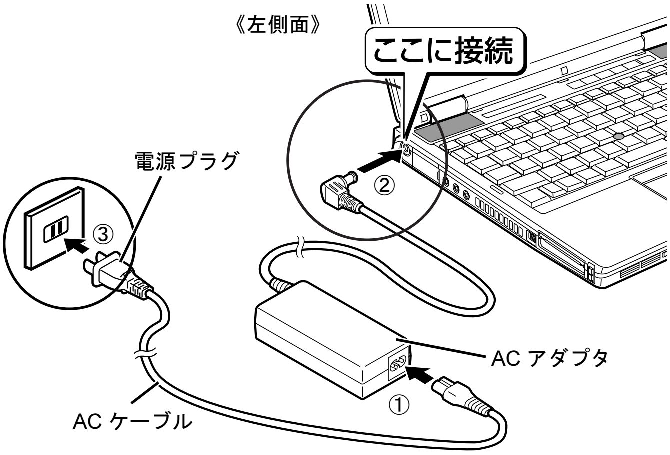
画面で見るマニュアル　添付の冊子マニュアル　▶▶▶ このマニュアルの巻頭でご案内しています。

2 AC アダプタを取り付けます。

① AC アダプタに AC ケーブルを接続し、②パソコン本体の DC-IN コネクタに接続します。
③その後、電源プラグをコンセントに接続します。

・MG75 シリーズの場合
正しく接続すると、状態表示 LCD に ⎓ が表示されます。

・MG55/50 シリーズの場合
正しく接続すると、状態表示 LED の AC アダプタランプ ⎓ が点灯します。



（イラストは機種や状況により異なります）

電源を入れる

ここでは電源の入れ方のうち Windows を起動する方法を説明しています。

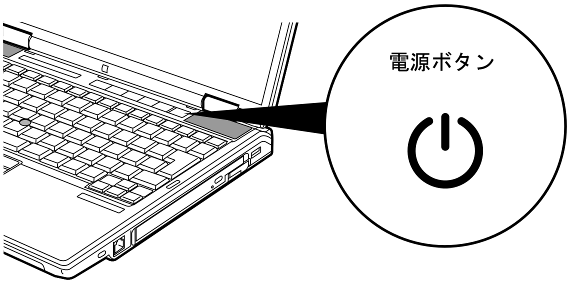
重要

電源を入れるときの注意

・電源を入れて本製品が起動するまでは、むやみにキーボードやフラットポイントに触らないでください。正常に起動できなくなる場合があります。

・パソコンを長時間お使いになる場合は、バッテリ切れによるデータ消失などを防ぐため、必ず AC アダプタを取り付けてください。

1 電源ボタン（⏻）を押します。



（イラストは機種や状況により異なります）

・MG75 シリーズの場合
状態表示 LCD に ⏻ が表示され、画面にさまざまな文字などが表示されます。そのまま、しばらくお待ちください。

・MG55/50 シリーズの場合
電源ランプが点灯し、画面にさまざまな文字などが表示されます。そのまま、しばらくお待ちください。

重要

電源ボタンは短く押してください

電源ボタンは、4 秒以上押し続けるとパソコンの電源が切れてしまいます。データが失われることもありますので、ご注意ください。

2 このような画面が表示されたことを確認します。



（画面は機種や状況により異なります）

POINT

Windows が起動しない場合

バッテリ残量が少ないと電源を入れても Windows が起動しないことがあります。次の点を確認してください。

・AC アダプタを取り付けているとき
　AC アダプタが正しく取り付けられているかを確認してください。
　「AC アダプタを接続する」（••▶P.22）

・バッテリで使うとき
　バッテリの残量が充分にあるかを確認し、足りなければ AC アダプタを取り付けてください。

以上の点を確認しても Windows が起動しない場合は、次のマニュアルをご覧ください。

参照

『ＦＭＶ 活用ガイド』
→「トラブルかなと思ったら（Q&A）」→「パソコンがおかしいときの Q&A 集」
→「Q パソコンの電源が入らない、画面に何も映らない［BIBLO］」

電源を切る

ここでは電源の切り方のうち Windows を終了する方法を説明しています。
必ず、次の手順で Windows の終了処理を行ってください。Windows の終了処理を行うと、自動的に電源が切れます。

1 それまで行っていた作業を終了します。

ソフトウェアを起動している場合は、作業中のデータを保存し、ソフトウェアを終了します。例えばワープロソフトを使って文書を作成中の場合は、文書データを保存し、ワープロソフトを終了します。

POINT

ソフトウェアを終了しなかった場合
ソフトウェアを起動したままこれ以降の操作を進めると、途中で作業中のデータを保存するか確認するメッセージが表示されることがあります。誤操作の原因となるので、あらかじめデータを保存した後、ソフトウェアを終了してください。

2 CD や DVD がセットされていたら、CD/DVD 取り出しボタンを押して取り出します。

POINT

CD や DVD を入れたままだと
パソコンの電源を切ってしまうと、CD や DVD は取り出せません。

3 「スタート」ボタンをクリックします。



（これ以降の画面は、機種や状況により異なります）

画面で見るマニュアル 添付の冊子マニュアル ▶▶▶ このマニュアルの巻頭でご案内しています。

POINT

電源が切れない場合

パソコンが動かなくなり（フラットポイントやキーボードが操作できないなど）、電源が切れないときは、次のマニュアルをご覧ください。

参照

『ＦＭＶ 活用ガイド』
→「トラブルかなと思ったら（Q&A）」→「パソコンがおかしいときの Q&A 集」
→「Q 操作中に画面が動かなくなった」

それでも電源が切れないときは、パソコン本体前面の電源ボタンを 4 秒以上押して、強制的に電源を切ってください。

4 「終了オプション」をクリックします。



5 「電源を切る」をクリックします。



しばらくすると Windows が終了し、パソコンの電源が自動的に切れます。

省電力機能について

このパソコンは、Windows を終了することなく消費電力を抑えることができるように、省電力機能を使うことができます。
ここでは、「スタンバイ」と「休止状態」の説明をします。

■ スタンバイ

メモリ内のプログラムやデータを、システム RAM（メモリ）に保持してパソコン本体の動作を中断させます。スタンバイ中は、状態表示 LCD の ⏻ または 電源ランプが点滅します。「休止状態」よりも短い時間で、中断したり回復（レジューム）したりできます。スタンバイ中は、わずかに電力を消費していて、電源は、AC アダプタを接続している場合は AC 電源から、接続していない場合はバッテリから供給されます。

■ 休止状態

メモリ内のプログラムやデータを、ハードディスクに書き込んで保存し、パソコン本体の電源を切ります。そのため、「スタンバイ」よりも中断／回復（レジューム）にかかる時間は長くなりますが、消費電力は削減されます。

■ 回復（レジューム）する場合

電源ボタンを押します（4 秒以上押し続けないでください。パソコンの電源が切れてしまいます）。

スタンバイや休止状態にするための方法については、次のマニュアルをご覧ください。

参照

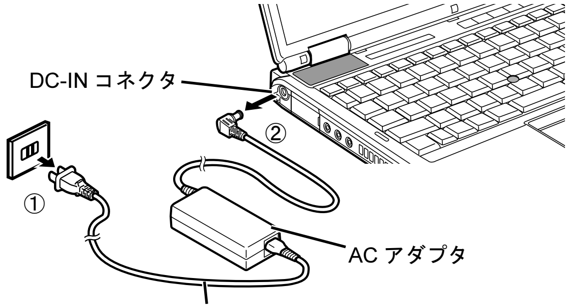
『画面で見るマニュアル』≫「000410」で検索
→「省電力機能を使う」

AC アダプタを取り外す

パソコン本体を持ち運ぶときや、周辺機器の取り付け・取り外しをするとき、パソコンを長時間使わないときは、必ず、AC アダプタを取り外します。

1 AC アダプタを取り外します。

① AC ケーブルの電源プラグをコンセントから抜き、② AC アダプタを DC-IN コネクタから取り外します。



（イラストは機種や状況により異なります）

重要

パソコン使用中に AC アダプタを取り外す場合

パソコンを使っている途中で AC アダプタを取り外し、バッテリでパソコンを使うときは、バッテリが充電されているか確認してください。特にご購入時にはバッテリが充電されていない場合があるので、ご注意ください。

2 液晶ディスプレイを閉じます。

液晶ディスプレイは静かに閉じてください。

重要

液晶ディスプレイを閉じる場合

- 液晶ディスプレイは静かに閉じてください。液晶ディスプレイに強い力が加わると、液晶ディスプレイが故障する原因となることがあります。
- 液晶ディスプレイの間に文房具などを挟まないようにしてください。

2 バッテリで使う

バッテリで使うには

このパソコンは、バッテリを使って動作させることができます。
ここでは、バッテリの充電方法やバッテリでパソコンを使う方法について説明しています。

充電してバッテリで使う

1 パソコンに AC アダプタを接続します。

AC アダプタを接続すると充電が始まります。

■MG75 シリーズの場合

バッテリを充電しているときに が点灯します。

■MG55/50 シリーズの場合

内蔵バッテリパックの充電ランプ（ ）は次のように表示されます。

消灯	充電終了
オレンジ点灯	充電中

2 バッテリが満充電になったら、AC アダプタを取り外します。

■MG75 シリーズの場合

バッテリの充電表示が消え、左端のバッテリ残量表示が点滅 から点灯 に変わります。

■MG55/50 シリーズの場合

バッテリ充電ランプがオレンジ点灯から消灯に変わります。

3 電源ボタンを押します。

バッテリの残量を確認する

バッテリ残量は、電源が入っているときや充電中に、状態表示 LCD または状態表示 LED のバッテリ残量ランプで確認できます。

■MG75 シリーズの場合（状態表示 LCD）

	約 100%～約 76%のバッテリ残量を示します。
	約 75%～約 51%のバッテリ残量を示します。
	約 50%～約 26%のバッテリ残量を示します。
	約 25%～約 13%のバッテリ残量を示します（充電中は、0%～約 25 %のバッテリ残量を示します）。
	LOW バッテリ状態（約 12%以下のバッテリ残量）を示します。 が点滅します。
	バッテリ切れ状態（0%のバッテリ残量）を示します。

■MG55/50 シリーズの場合（状態表示 LED）

バッテリ残量ランプ（ ）は、パソコンが動作状態またはバッテリ充電中のときは点灯し、スタンバイのときは点滅します。

グリーン点灯	バッテリ残量　100 〜 50%
オレンジ点灯	バッテリ残量　49 〜 13%
レッド点灯	バッテリ残量　12%以下
オレンジ点滅	バッテリ残量計測中（内蔵バッテリパック装着後 4 秒間）
レッド点滅	バッテリ異常時
消灯	内蔵バッテリパック未接続時

重要

バッテリの異常表示

・バッテリ温度アラームの表示（バッテリ充電ランプ）（MG55/50 シリーズの場合のみ）
バッテリ充電ランプのオレンジ点滅は、内蔵バッテリパックが熱を持って温度が高くなったり、冷やされて温度が低くなったときに、バッテリの保護機能が働いて充電を停止していることを表しています。しばらくして内蔵バッテリパックの温度が平常に戻ると、オレンジ点灯になり充電を再開します。

・バッテリの異常表示（バッテリ残量ランプ）
　・MG75 シリーズの場合
　　 バッテリが正しく充電できないことを示します。
　・MG55/50 シリーズの場合
　　バッテリ残量ランプが、早い間隔でレッド点滅する場合は、バッテリが正しく充電できないことを示します。

LOW バッテリ状態

・MG75 シリーズの場合
バッテリが LOW バッテリ状態になると、状態表示 LCD のバッテリ残量表示が点滅します（ ）。すみやかに AC アダプタを接続して、バッテリを充電してください。

・MG55/50 シリーズの場合
バッテリが LOW バッテリ状態になると、状態表示 LED のバッテリ残量ランプがレッド点灯／点滅します。すみやかに AC アダプタを接続して、バッテリを充電してください。

バッテリについては、次のマニュアルをご覧ください。

参照

▼バッテリの注意事項について
▼バッテリの異常表示がされた場合

『画面で見るマニュアル』》「000590」で検索
→「バッテリで使う」

内蔵バッテリパックを交換する

バッテリを長期間使用すると充電する能力が低下するため、バッテリ稼働時間が短くなります。稼働時間が極端に短くなってきたら、新しいバッテリに交換してください。
使用できるバッテリについては、次のマニュアルをご覧ください。

参照

『画面で見るマニュアル』»「000560」で検索
→「内蔵バッテリパックを交換する」→「必要なものを用意する」

警告

・バッテリパックの交換を行う場合は、パソコン本体の電源を必ず切り AC アダプタを取り外してください。また、パソコン本体やバッテリパックのコネクタに触れないでください。
感電や故障の原因となります。

1 パソコン本体の電源を切り、AC アダプタを取り外します。

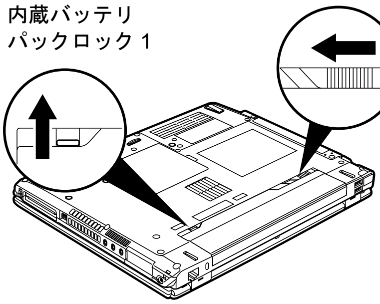
2 液晶ディスプレイを閉じ、パソコン本体を裏返します。

液晶ディスプレイを閉じる場合は、文房具などを挟まないようにして静かに閉じてください。

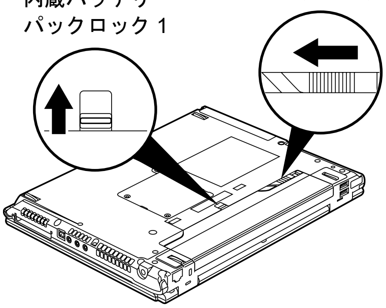
3 内蔵バッテリパックロックを解除します。

内蔵バッテリパックロック 1 を矢印の方向にスライドさせながら、内蔵バッテリパックロック 2 を矢印の方向にスライドさせます。

■MG75 シリーズの場合



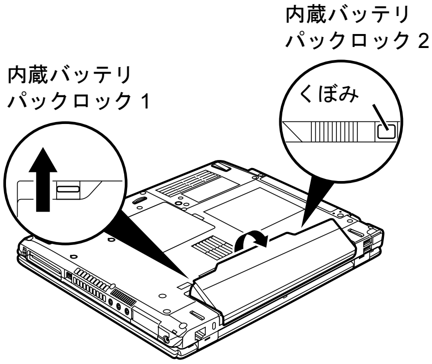
■MG55/50 シリーズの場合



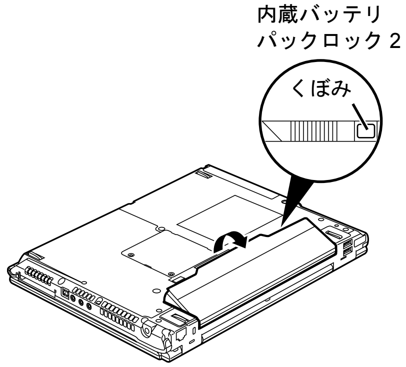
4 内蔵バッテリパックを取り外します。

MG75 シリーズの場合は、内蔵バッテリパックロック 1 をスライドさせながら、内蔵バッテリパックロック 2 のくぼみに指をかけて内蔵バッテリパックを取り外します。
MG55/50 シリーズの場合は、内蔵バッテリパックロック 2 のくぼみに指をかけて内蔵バッテリパックを取り外します。

■MG75 シリーズの場合



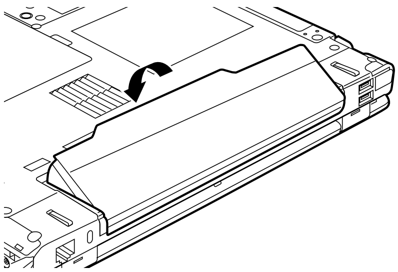
■MG55/50 シリーズの場合



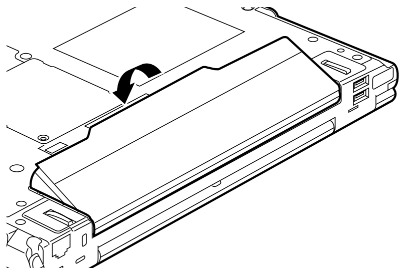
5 新しい内蔵バッテリパックを取り付けます。

新しい内蔵バッテリパックを斜め上から差し込み、カチッと音がするまでしっかりはめこみます。

■MG75 シリーズの場合



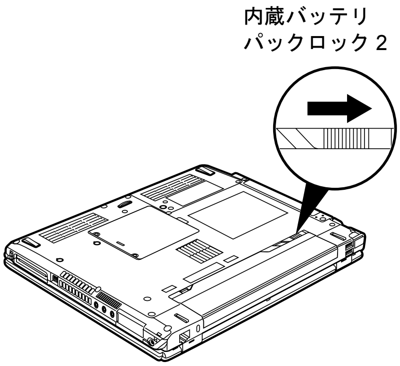
■MG55/50 シリーズの場合



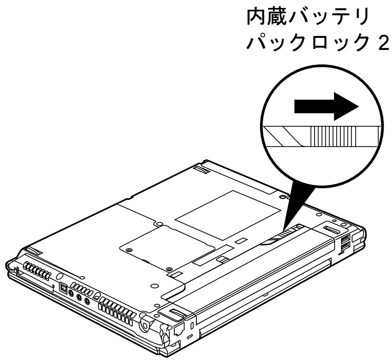
6 ロックします。

内蔵バッテリパックロック 2 を矢印の方向にスライドさせて、ロックします。

■MG75 シリーズの場合



■MG55/50 シリーズの場合

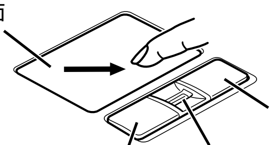


3 フラットポイントを使う

スティックポイントは MG75T, MG75TN の場合のみ搭載されています

フラットポイントについて

フラットポイントは、指先の操作でマウスポインタを動かすことのできる便利なポインティングデバイスで、操作面とその手前にある 2 つのボタンで構成されています。
操作面は、マウスでいえばボール部分の機能を持ち、指先で上下左右になぞることにより、画面上のマウスポインタを移動させます。
左右のボタンは、それぞれマウスの左右のボタンに相当し、その機能はソフトウェアにより異なります。
MG75T, MG75TN の場合は、スティックポイントがついています。
スティックポイントは指先をスティックポイントの上に置いたまま、上下左右に押すことにより、画面上のマウスポインタを移動させることができます。
フラットポイントの操作面の上下に一つずつある左右のボタンは、それぞれマウスの左右のボタンに相当し、その機能はソフトウェアにより異なります。
また、中央にある指紋センサーを使って、簡単に画面を上下にスクロールできます。



（イラストは機種や状況により異なります）

POINT

- フラットポイントは表面の結露、湿気などにより誤動作することがあります。また、濡れた手や汗をかいた手でお使いになった場合、あるいはフラットポイントの表面が汚れている場合は、マウスポインタが正常に動作しないことがあります。電源を切ってから、薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布で汚れを拭き取ってください。
- お使いになるソフトウェアによっては、指紋センサーを使った画面のスクロールができない場合があります。
- USB マウスを使用することもできます。

参照

▼ マウスの接続方法について

『画面で見るマニュアル』≫「000680」で検索
→「マウスを接続する」

▼ マウスについて

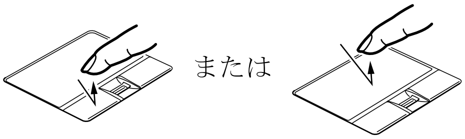
『画面で見るマニュアル』≫「000780」で検索
→「マウスを使う」

フラットポイントの使い方

MG75T, MG75TN の場合は、スティックポイントがついています。
スティックポイントの説明もご覧ください。
また、フラットポイントには上下にボタンがあります。ここでは、下のボタンのみを説明します。上のボタンも下のボタンと同様の働きをします。

■クリック／タップ

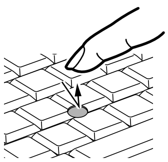
左ボタンをカチッと 1 回押して、すぐ離すか、操作面を 1 回タップ（軽くたたく）することです。
また、右ボタンを 1 回カチッと押すことを「右クリック」といいます。



（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

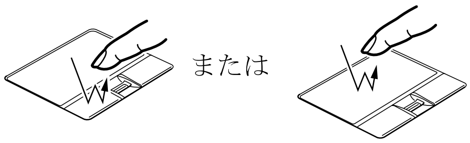
■スティックポイントの場合

スティックポイントを 1 回タップします。



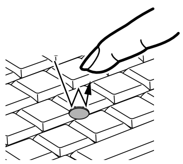
■ダブルクリック／ダブルタップ

左ボタンをカチカチッと 2 回素早く押して、すぐ離すか、操作面を 2 回連続してタップすることです。



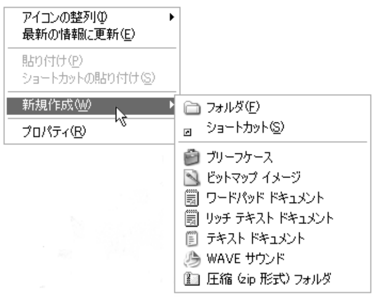
■スティックポイントの場合

スティックポイントを 2 回連続してタップします。



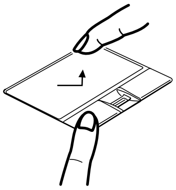
■ポイント

マウスポインタをメニューなどに合わせることです。ポイントすると、項目が反転表示されたり、項目の説明が表示されます。また、ポイントしたメニューの下にサブメニューがある場合（メニューの右端に ▶ が表示されています）、サブメニューが表示されます。

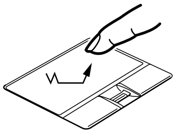


■ドラッグ

左ボタンを押しながら希望の位置まで操作面をなぞり、指を離します。
左ボタンを使わない場合は、操作面を素早く2回タップし、2回目のタップのときに指を操作面上から離さないで、希望の位置まで操作面をなぞり、指を離します。



または

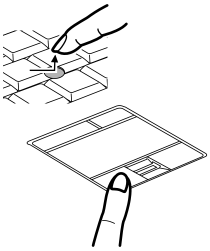


■スティックポイントと左ボタンでのドラッグ

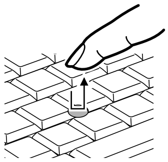
左ボタンを押しながら希望の位置までスティックポイントを上下左右に押し、指を離します。

■スティックポイントでのドラッグ

スティックポイントをタップし、そのままスティックポイントを押し込んだままで希望の位置まで上下左右に押し、指を離します。



または



■スクロール

指紋センサー上で指先を前後にスライドすると、画面の表示を上下にスクロールできます。

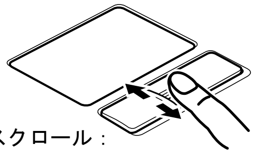
1 スクロールしたい領域（ウィンドウの中）をクリックします。



（画面は機種や状況により異なります）

2 指紋センサー上で指先を前後にスライドします。

ウィンドウの中の表示が上下にスクロールします。



POINT

お使いになるソフトウェアによっては、指紋センサーを使った画面のスクロールができない場合があります。

フラットポイントについては、次のマニュアルもご覧ください。

参照

▼フラットポイント／スティックポイントについて（MG75 シリーズの場合）

『画面で見るマニュアル』»「000640」で検索

→「フラットポイント／スティックポイントを使う」

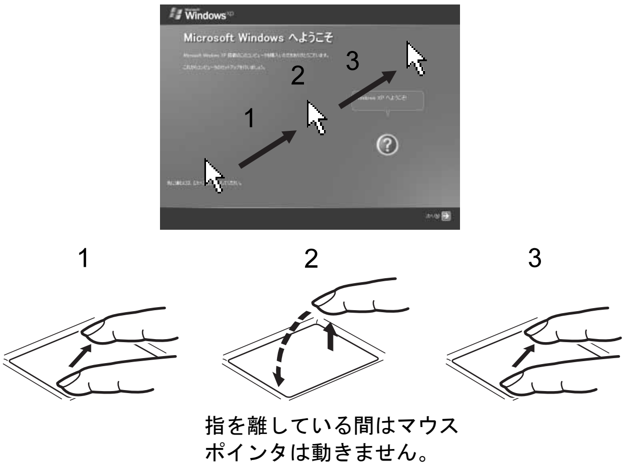
▼フラットポイントについて（MG55/50 シリーズの場合）

『画面で見るマニュアル』»「000640」で検索

→「フラットポイントを使う」

指が操作面の端まできたら

いったん操作面から指を離して、もう一度別の位置からなぞってください。指を離してもマウスポインタは動きません。



うまくクリックできない場合

なるべくボタンの中央部分を押すようにしてください。また、ボタンを押すときや離すときに、の位置がずれないように、気を付けてください。

4 音量を調節する

スピーカーやヘッドホンの音量は、キーボードなどで調節することができます。

重要

音量の調節について

スピーカーが故障する原因となる場合があるので、音量はスピーカーから聞こえる音がひずまない範囲に設定・調整してください。

1 【Fn】を押しながら、【F8】、【F9】または【F3】を押します。

■音量を小さくしたい場合

【Fn】を押しながら、【F8】を押します。

■音量を大きくしたい場合

【Fn】を押しながら、【F9】を押します。

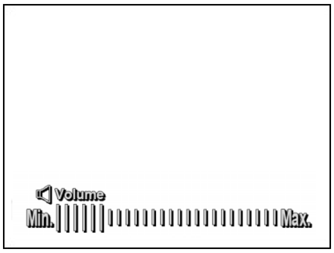
調節中は画面下部に音量を示すインジケータが表示されます。

■音を消したい場合

【Fn】を押しながら、【F3】を押します。

「Mute」と表示され、画面右下の通知領域にが表示されます。

もう一度【Fn】を押しながら【F3】を押すと、画面下部に現在の音量を示すインジケータが表示され、音が出るようになります。



音量小 ←→ 音量大

通知領域のでも調節できます。

参照

『画面で見るマニュアル』≫「000190」で検索

→「音量を調節する」

5 液晶ディスプレイの明るさを調節する

キーボードで画面の明るさを、8 段階に変更できます。

1 明るさを設定します。

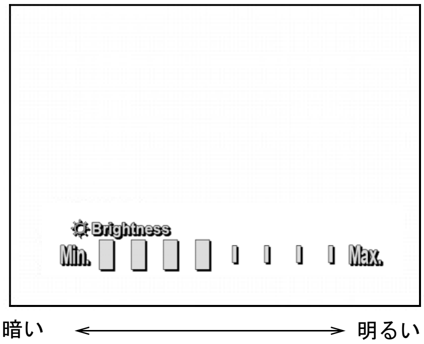
■明るくする場合

【Fn】を押しながら【F7】を押す

■暗くする場合

【Fn】を押しながら【F6】を押す

画面下部に明るさを示すインジケータが表示されます。



POINT

- パソコンを再起動したり、スタンバイからレジュームしたり、AC アダプタの取り付けや取り外しを行った直後は、キーボードで明るさを変更しても有効にならないことがあります。しばらくしてから、変更してください。
- Windows の動作中に AC アダプタの取り付けや取り外しを行うと、「IndicatorUtility により、画面の明るさが変更されました。」というメッセージが表示されます。画面の指示に従って操作を行ってください。

明るさの設定について

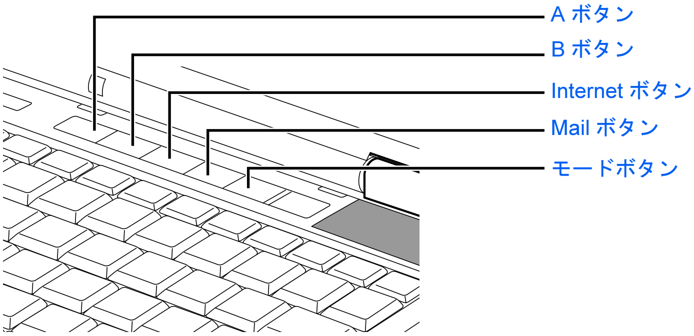
ご購入時は、AC アダプタを接続している場合は明るく、バッテリで使っている場合は少し暗くなるように設定されています。

明るさの設定は、AC アダプタを接続している場合と、バッテリで使っている場合とで別々に変更できます。

6 ワンタッチボタンを使う

ワンタッチボタンは、パソコンの各種機能を呼び出すためのボタンです。ボタンを押すだけでソフトウェアの起動やEメールの受信、音楽CDやDVD-VIDEOの操作などが行えます。

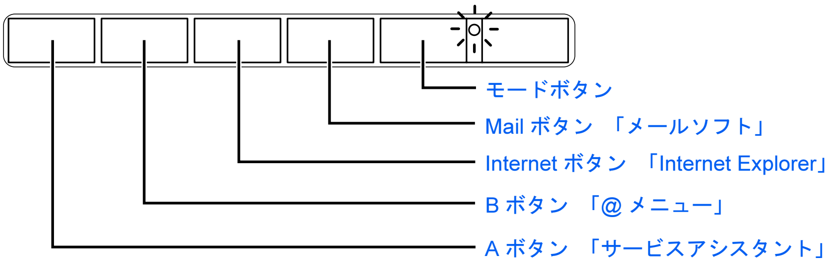
■MG75シリーズの場合



ワンタッチボタンには、「Applicaton」モードと、「Player」モードがあります。
モードを切り替えるには、モードボタンを押します。モードボタンを押すたびに「Application」モードと「Player」モードが切り替わり、有効なモードの表示が点灯します。

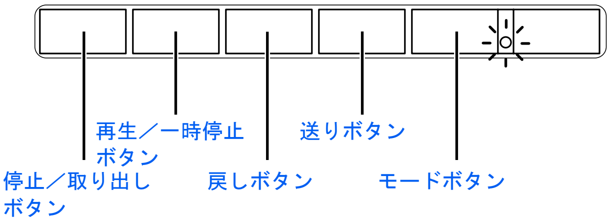
「Application（アプリケーション）」モードのとき

モードボタン横のApplicationが点灯します。ボタンの表示に応じて次のソフトウェアが起動します。



「Player（プレーヤー）」モードのとき

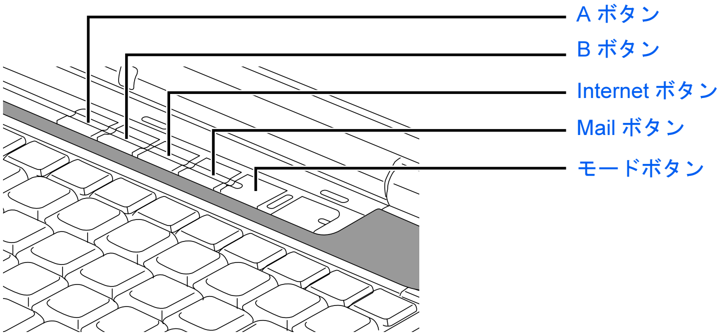
モードボタン横のPlayerが点灯します。音楽CDやDVD-VIDEOの操作ができます。



POINT

パソコンの電源が切れているときやスタンバイ状態のとき、ワンタッチボタンは「Application」モードになります。「Player」モードにはなりません。

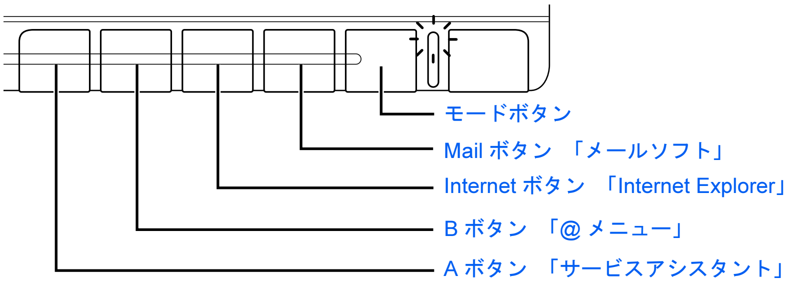
■ MG55/50 シリーズの場合



ワンタッチボタンには、「Applicaton」モードと、「Player」モードがあります。
モードを切り替えるには、モードボタンを押します。モードボタンを押すたびに「Application」モードと「Player」モードが切り替わり、有効なモードの表示が点灯します。

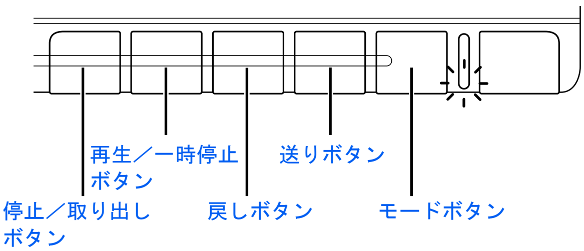
「Application（アプリケーション）」モードのとき

モードボタン横の Application が点灯します。ボタンの表示に応じて次のソフトウェアが起動します。



「Player（プレーヤー）」モードのとき

モードボタン横の Player が点灯します。音楽 CD や DVD-VIDEO の操作ができます。



POINT

パソコンの電源が切れているときやスタンバイ状態のとき、ワンタッチボタンは「Application」モードになります。「Player」モードにはなりません。

参照

▼ワンタッチボタンについて

『画面で見るマニュアル』»「000770」で検索
→「ワンタッチボタンを使う」

7 CD/DVD を使う

このパソコンで使える CD/DVD

使える CD/DVD

スーパーマルチドライブ搭載の機種でお使いになることのできる CD や DVD は、次のとおりです。

- CD：CD-ROM、音楽 CD、フォト CD、ビデオ CD、CD-R、CD-RW
- DVD：DVD-ROM、DVD-VIDEO、DVD+R、DVD+RW、DVD+R DL、DVD-R、DVD-RW、DVD-R DL、DVD-RAM［注］

  注 ：DVD-RAM をお使いになる場合には、フォーマットが必要です。

MG75TN, MG55TN, MG50TN/V, MG50TN で CD-RW/DVD-ROM ドライブを選択した場合は、CD は CD-ROM、音楽 CD、フォト CD、ビデオ CD、CD-R、CD-RW を、DVD は DVD-ROM と DVD-VIDEO のみ、お使いになることができます。

推奨ディスク

次の CD-R/RW、DVD-RAM/R/RW、DVD-R DL、DVD+R/RW または DVD+R DL の使用を推奨します。

下記以外の CD-R/RW、DVD-RAM/R、DVD-R DL、DVD+R/RW または DVD+R DL をお使いの場合は、書き込み／書き換え速度が低下することがあります。また、下記以外の DVD-RW または DVD+RW をお使いの場合は、書き込みが正常に行えない場合や、再生できない場合があります。

なお、富士通サプライ品は、富士通コワーコ株式会社の取り扱い品です。
お問い合わせ先
富士通コワーコ株式会社　お客様総合センター
電話：0120-505-279
受付時間：月～金／ 9:00 ～ 17:30（祝日・年末年始除く）
URL：http://jp.fujitsu.com/coworco/

- CD-R

  太陽誘電：CDR-74WPY、CDR-80WTY
- CD-RW

  富士通サプライ品：CD-RW74/0241410
  三菱化学メディア：SW74QU1、SW74EU1、SW80QU1、SW80EU1
- DVD-R

  太陽誘電：DVD-R47WPY、DR-47TY、DR-47WTY
- DVD-R DL

  三菱化学メディア：DHR85Y1、DHR85YP5
- DVD-RW

  日本ビクター：VD-RW47B、VD-W47F、VD-W47H

・DVD-RAM

日立マクセル：DRM47C.1P（4.7GB、カートリッジ無）、DRM120C.1P（4.7GB、カートリッジ無）、DRMC47C.1P（4.7GB、カートリッジ有、取り出し可）、DRMC120C.1P（4.7GB、カートリッジ有、取り出し可）、DRMC94C.1P（9.4GB、カートリッジ有、取り出し可）、DRMC240C.1P（9.4GB、カートリッジ有、取り出し可）

・DVD+R

三菱化学メディア：DTR47HM5、DTR47JP5

・DVD+R DL

三菱化学メディア：DTR85N1、DTR85H1

・DVD+RW

三菱化学メディア：DTW47U1
リコー：D8RWD-S1CW

重要

DVD-RAM は、カートリッジなしタイプまたはカートリッジからディスクが取り出せるタイプをご購入ください。
カートリッジに入れた状態で使用するタイプ（Type1）は使用できません。また、無理に取り出して使わないでください。

参照

▼ このパソコンで使える CD/DVD について
『画面で見るマニュアル』»「000050」で検索
→「このパソコンで使える CD/DVD」

CD/DVD をパソコンにセットする／取り出す

ここでは、CD や DVD をパソコンにセット／取り出しをする方法について説明しています。
モバイルマルチベイユニットの取り外しや取り付け方法については、次のマニュアルをご覧ください。

参照

『画面で見るマニュアル』»「000730」で検索
→「モバイルマルチベイユニットを使う」

CD/DVD をセットする

⚠注意

・CD/DVD をセットまたは取り出す場合は、トレーに指などを入れないでください。
けがの原因となることがあります。

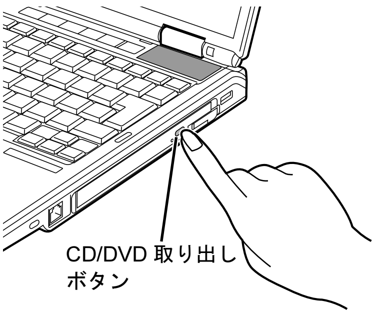
重要

- CD や DVD に頻繁にアクセスしたり、DVD-VIDEO を再生したり、CD/DVD に書き込み、書き換えをしたりする場合は、パソコン本体に AC アダプタを取り付けることをお勧めします。
  パソコン本体に AC アダプタを取り付ける方法については、（••▶P.22）をご覧ください。
- ディスクをセットするときは、トレー中央の突起にディスクの穴を合わせ、パチッと音がするまでしっかりとはめ込んでください。
  きちんとはめ込まないと、ディスクがドライブ内部で外れて、トレーやドライブの内部、およびディスクを破損する原因となることがあります。
- CD や DVD はデータの読み出しなどの際に高速回転するため、使用時には振動や風切音がすることがあります。

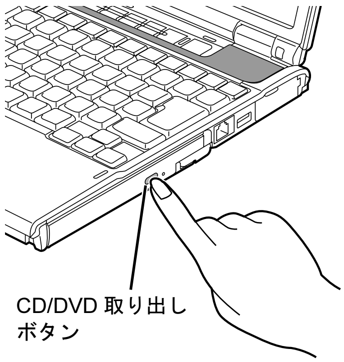
1 **CD/DVD 取り出しボタンを押します。**

トレーが少し飛び出します。
電源が切れている場合は、電源を入れてから CD/DVD 取り出しボタンを押してください。
状態表示 LCD の、または状態表示 LED のが点滅中に CD/DVD 取り出しボタンを押してもかまいません。

■MG75 シリーズの場合

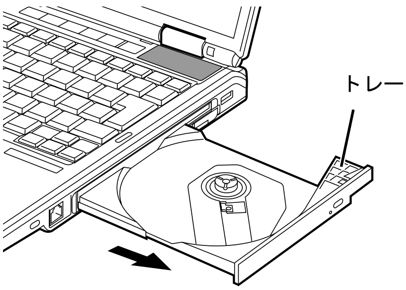


■MG55/50 シリーズの場合

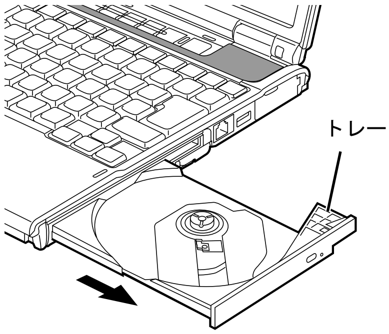


2 **トレーを静かに引き出します。**

■MG75 シリーズの場合



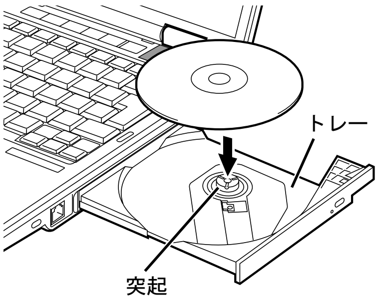
■MG55/50 シリーズの場合



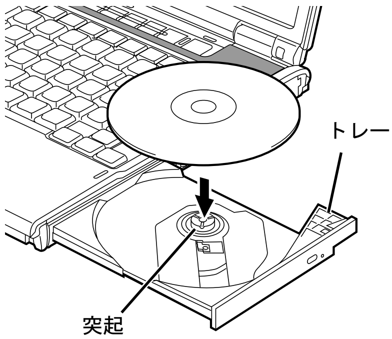
3 トレーを支えながら、ディスクをセットします。

ディスクのレーベル面を上に（両面タイプの DVD-RAM の場合は、データの読み取り／書き込みを行う面を下に）して、トレー中央の突起にディスクの穴を合わせ、パチッと音がするまでしっかりとはめ込んでください。

■MG75 シリーズの場合



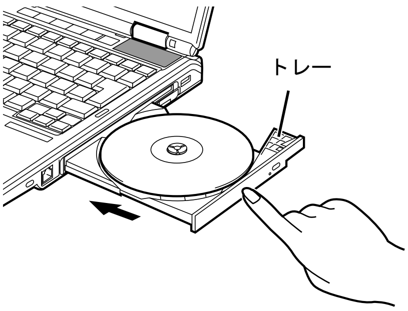
■MG55/50 シリーズの場合



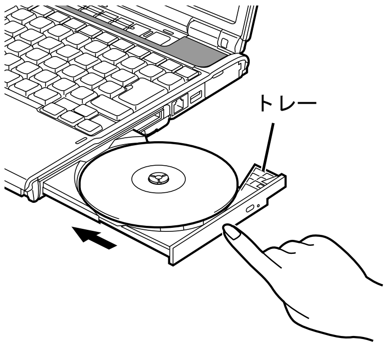
4 トレーを静かに押し込みます。

ディスクをセットしてから、パソコンで使えるようになるまで、約 10 秒かかります。

■MG75 シリーズの場合



■MG55/50 シリーズの場合



2

POINT

「…Windows が実行する動作を選んでください。」ウィンドウが表示された場合



（画面は状況により異なります）

CD/DVD を取り出す

注意

・CD/DVD をセットまたは取り出す場合は、トレーに指などを入れないでください。
けがの原因となることがあります。

1 ディスクを利用しているソフトウェアがあれば終了します。

2 CD/DVD 取り出しボタンを押します。

トレーが少し飛び出します。
電源が切れている場合は、電源を入れてから CD/DVD 取り出しボタンを押してください。
状態表示 LCD の 、または状態表示 LED の が点滅中に CD/DVD 取り出しボタンを押してもかまいません。

3 トレーを静かに引き出します。

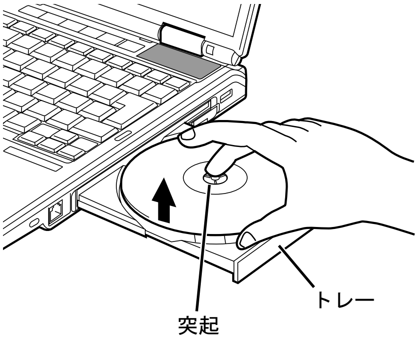
画面で見るマニュアル　添付の冊子マニュアル　▶▶▶ このマニュアルの巻頭でご案内しています。

2

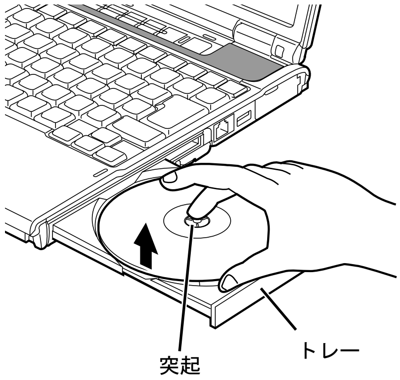
4 トレーを手で支えながらディスクを取り出します。

トレー中央の突起を押さえながら、ディスクがパソコン本体にぶつからないように、ディスクのふちを持ち上げてください。

■ MG75 シリーズの場合



■ MG55/50 シリーズの場合



5 トレーを静かに押し込みます。

CD/DVD が取り出せなくなった場合は、次のマニュアルをご覧ください。

参照

『画面で見るマニュアル』»「000052」で検索

→「CD/DVD をパソコンにセットする／取り出す」→「CD/DVD が取り出せなくなったら」

このパソコンでできることのご紹介

画面で見るマニュアルでは、次のようなことを説明しています。
この他にも様々な機能がありますので、画面で見るマニュアルをご覧ください。

参照

▼ DVD を見る

▼ CD/DVD にデータを保存する

▼ CD に音楽を保存する

『画面で見るマニュアル』

→「8. 添付ソフトウェア一覧（カテゴリ別）」→「CD・DVD」

▼ 音楽 CD を聴く

『画面で見るマニュアル』

→「8. 添付ソフトウェア一覧（カテゴリ別）」→「音楽・音声」→「パソコンで音楽を楽しむ」

8 メモリーカードを使う

ここでは、このパソコンでお使いになれるメモリーカードの種類や、メモリーカードのセット方法、および取り出し方法について説明しています。
SD メモリーカード、メモリースティックおよび xD- ピクチャーカードを総称して、メモリーカードと呼んでいます。

使えるメモリーカード

ダイレクトメモリースロットは､デジタルカメラなどに使われているメモリーカードに直接データを読み書きするためにスロットです。
ダイレクトメモリースロットが対応しているメモリーカードは次のとおりです。

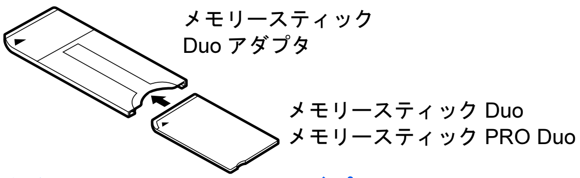
- メモリースティック［注］
- メモリースティック
  （メモリーセレクト機能付）［注］
- メモリースティック Duo［注］
- メモリースティック PRO［注］
- メモリースティック PRO Duo［注］
- SD メモリーカード
- miniSD カード
- xD- ピクチャーカード
- xD- ピクチャーカード Type M シリーズ
- xD- ピクチャーカード Type H シリーズ

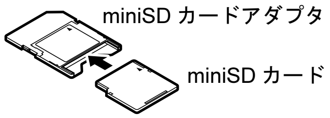
注：マジックゲート機能が必要なデータの記録／再生はできません。

重要

アダプタが必要なメモリーカードについて

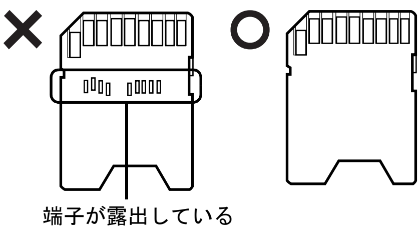
・メモリースティック Duo、メモリースティック PRO Duo または miniSD カードをお使いの場合は、必ずアダプタにセットしてからお使いください。そのまま挿入すると、メモリーカードが取り出せなくなります。
　また、メモリーカードを取り出す場合は、必ずアダプタにセットしたまま取り出してください。アダプタだけをダイレクトメモリースロットに残すと、故障の原因となります。
・メモリースティック Duo アダプタは、塗装部分が剥がれた状態では使用しないでください。ダイレクトメモリースロット内部の端子が接触し､メモリースティック Duo またはメモリースティック PRO Duo を認識しなかったり、故障の原因となります。
　また、剥がれた塗装部分などにテープなどを貼って使用することもしないでください。アダプタが取り出せなくなる場合があります。





使えない miniSD カードアダプタについて

miniSD カードのアダプタには、裏面の中央部から端子が露出している製品がありますが、このタイプのアダプタは使用しないでください。ダイレクトメモリースロット内部の端子が接触し、故障の原因となる場合があります。
miniSD カードのアダプタは、裏面中央部から端子が露出していない製品をご利用ください。



POINT

・すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。
・マルチメディアカード、セキュアマルチメディアカードには対応していません。
・SDHC メモリーカードには対応していません。
・SD メモリーカード、miniSD カードは、著作権保護機能（CPRM）に対応しています。

メモリーカードをセットする／取り出す

注意

・メモリーカードをセットまたは取り出す場合は、ダイレクトメモリースロットに指などを入れないでください。
けがの原因となることがあります。

重要

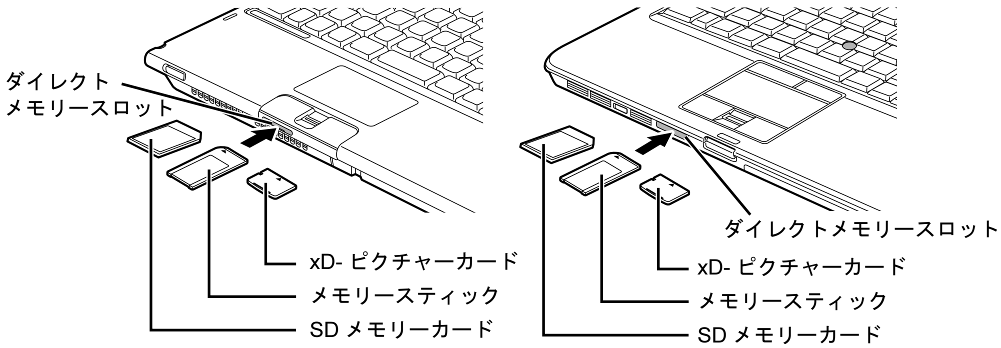
・メモリーカードや記録されているデータの取り扱いについては、メモリーカードや周辺機器のマニュアルをご覧ください。
・メモリーカードをデジタルカメラなどで使っている場合は、お使いの機器でフォーマットしてください。Windows でフォーマットすると、デジタルカメラなどでメモリーカードが使えなくなります。デジタルカメラなどでのフォーマットの方法については、お使いの機器のマニュアルをご覧ください。

メモリーカードをセットする

1 メモリーカードをダイレクトメモリースロットにセットします。

製品名のある面を上にして、奥までしっかりと差し込んでください。

■MG75 シリーズの場合　　■MG55/50 シリーズの場合



※製品名のある面を上側にして、まっすぐにセットします。
※ SD メモリーカード、メモリースティック、xD- ピクチャーカード
を同時に使用することはできません。

メモリーカードを取り出す

1 画面右下の通知領域にある（ハードウェアの安全な取り外し）をクリックします。

2 「nnn を安全に取り外します」をクリックします。

nnn にはお使いのメモリーカードの名称が表示されます。

3 「ハードウェアの取り外し」というメッセージが表示されたら、メモリーカードをパソコンから取り出します。

メモリーカードを一度押すと、少し飛び出します。
飛び出したメモリーカードを引き抜きます。

メモリーカードについて詳しくは次のマニュアルもご覧ください。

参照

『画面で見るマニュアル』»「000700」で検索
→「メモリーカードを使う」

9 ワンセグ放送を見るためには

ワンセグチューナーが内蔵されている機種のみ

ワンセグ放送について

ワンセグ放送とは、地上デジタル放送のサービスの一つで、携帯電話、ノートパソコンなどの移動端末向けのサービスです。
このパソコンでは、内蔵ワンセグチューナーを使用して、ワンセグ放送を視聴したり、録画したりすることができます。
このパソコンでワンセグ放送を視聴するには「StationMobile」というソフトウェアを使用します。
ワンセグ放送の視聴や録画方法について、詳しくは「StationMobile 取扱説明書」をご覧ください。
また、このパソコンに内蔵されているワンセグチューナーを使用して、次のことができます。

- 日本国内で放送している地上デジタルテレビ放送のワンセグ放送を見ることができます。
- ワンセグ放送のテレビ番組表をダウンロードして見ることができます。
- 視聴中のテレビ番組を録画することができます（予約録画はできません)。

POINT

携帯・移動体向けの地上デジタルテレビ放送「ワンセグ」は、2006 年 4 月 1 日に東京、名古屋、大阪およびその他一部地域より順次開始されている放送サービスです。準備を始める前に、ご使用になる地域でワンセグ放送が開始されているかご確認ください。放送開始日については、各放送局にお問い合わせください。
ワンセグについて詳しくは、社団法人地上デジタル放送推進協会のホームページ（http://www.d-pa.org/）などをご覧ください。

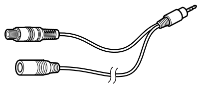
ワンセグ放送を見るための準備をする

ここでは、アンテナの接続方法、ワンセグ放送を見るためのソフト「StationMobile」の起動方法とチャンネルの設定方法を説明しています。
初めて「StationMobile」を起動したときは、ご使用の地域で受信できるチャンネルをスキャンする必要があります。チャンネルをスキャンする場合は、必ずアンテナまたはヘッドホンアンテナを接続してから行ってください。

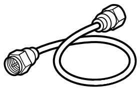
必要なものを用意する

必ず用意してください

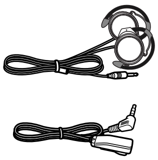
■ **RF 変換ケーブル（屋内でワンセグ放送を見る場合のみ）**



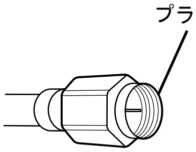
■ **アンテナケーブル（別売）（屋内でワンセグ放送を見る場合のみ）**



■ **ヘッドホン、ヘッドホンアンテナ（屋外でワンセグ放送を見る場合のみ）**



アンテナケーブルはF型コネクタプラグ付アンテナケーブルをご購入ください。
アンテナケーブルとパソコンの接続には、ノイズの影響を受けにくいネジ式の F 型コネクタプラグ付アンテナケーブルの使用をお勧めします。
なお、ケーブルは適切な長さのものを用意してください。



重要

ネジ式でない F 型コネクタプラグ付アンテナケーブルをお使いになる場合は、次の点にご注意ください

ネジ式でないＦ型コネクタプラグ付アンテナケーブルは、ネジ式に比べノイズの影響を受けやすいため、映像がとぎれたり、乱れたりすることがあります。

アンテナを接続する

ここでは、アンテナケーブルを接続する方法について説明します。
アンテナケーブルの接続はお使いの状況によって異なります。いずれかの方法でアンテナを接続してください。
ワンセグ放送を受信するには、地上デジタル放送に対応したアンテナが必要です。アンテナが地上デジタル放送に対応していない場合は、「屋外でワンセグ放送を見る場合」（••▶P.54）をご覧になり、ヘッドホンアンテナを接続してください。

屋内でワンセグ放送を見る場合

市販のアンテナケーブルと添付の RF 変換ケーブルを経由し、壁のアンテナコネクタに接続します。安定した画像・音声でワンセグ放送を視聴できますが、アンテナコネクタのある場所でしか視聴できません。
このパソコンではワンセグ放送を視聴できます。

⚠警告

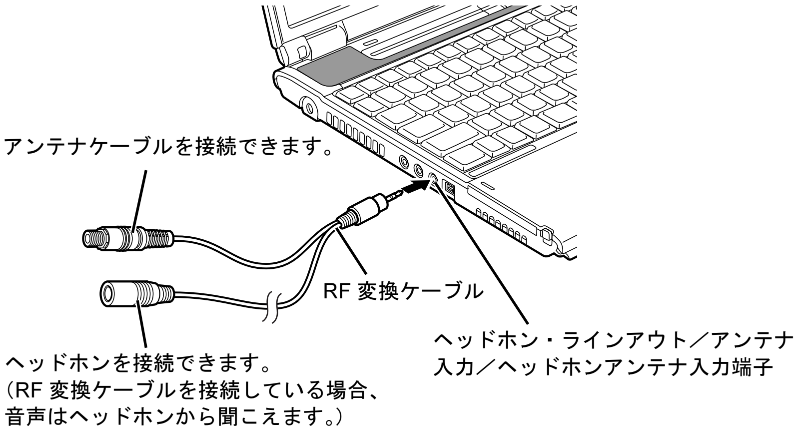
・雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまでパソコン本体やケーブル類に触れないでください。ケーブル類の接続作業は、落雷の可能性がなくなるまで行わないでください。
落雷の可能性がある場合は、あらかじめパソコン本体の電源を切り、その後電源コードをコンセントから抜き、ケーブル類を取り外しておいてください。
落雷による感電、火災の原因となります。

重要

アンテナケーブルを接続するときはパソコンの電源を切ってください
パソコンの電源を切ってから、アンテナケーブルを接続してください。

1. **パソコンの電源が入っている場合は、電源を切ります。**

2. **RF 変換ケーブルを、パソコン本体のヘッドホン・ラインアウト／アンテナ入力／ヘッドホンアンテナ入力端子に接続します。**

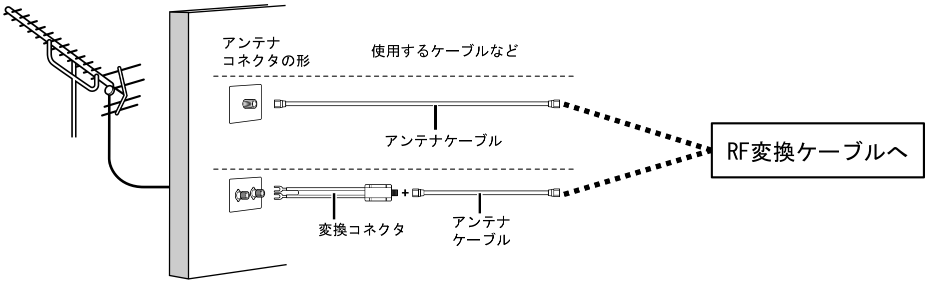


次のページへ

3 アンテナケーブルを RF 変換ケーブルに接続します。

接続のしかたは、壁のアンテナコネクタの形や、お使いになるケーブルによって異なります。次の図から最も近いものを選択し、必要なケーブル類を接続してください。
（地上デジタル放送に対応した UHF アンテナが必要です。）

地上デジタル放送に対応したアンテナ
注：地上デジタル放送以外の放送に同時に対応している場合もあります。



屋外でワンセグ放送を見る場合

添付のヘッドホンアンテナを接続します。

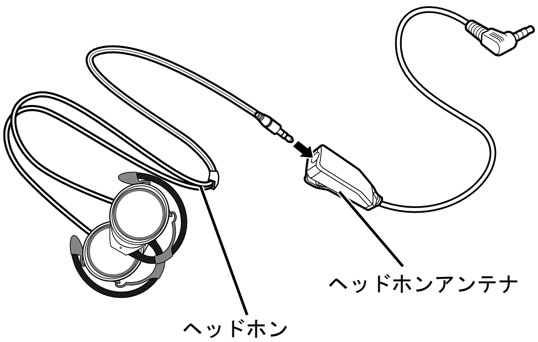
⚠警告

聴力障害

- ヘッドホンをお使いになるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。
- 電源を入れたり切ったりする前には音量を最小にしておいてください。

- 自転車やバイク、自動車などの運転中は、ワンセグ放送や音楽を視聴しないでください。
  周囲の音が聞こえにくく、映像や音声に気をとられ交通事故の原因になります。また、歩行中でも周囲の交通に充分に注意してください。特に踏切や横断歩道ではご注意ください。

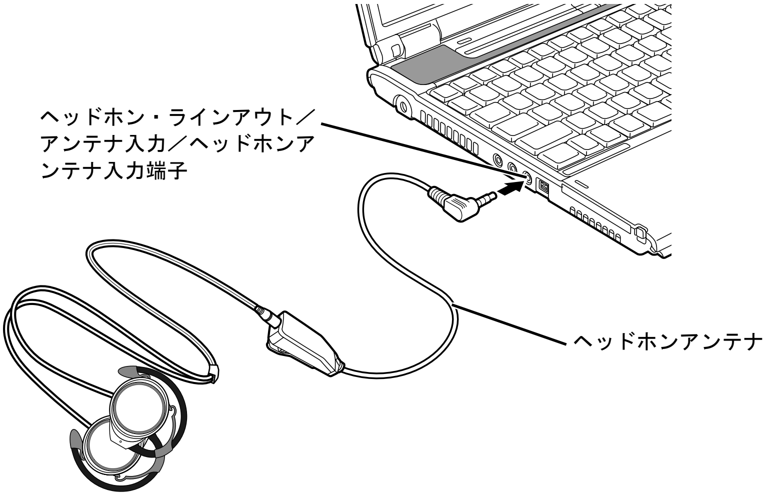
1 ヘッドホンをヘッドホンアンテナに接続します。



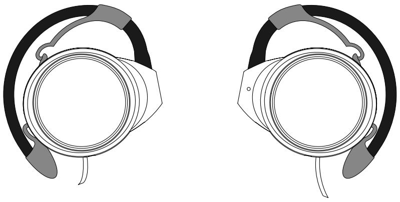
画面で見るマニュアル　添付の冊子マニュアル ▶▶▶ このマニュアルの巻頭でご案内しています。

2

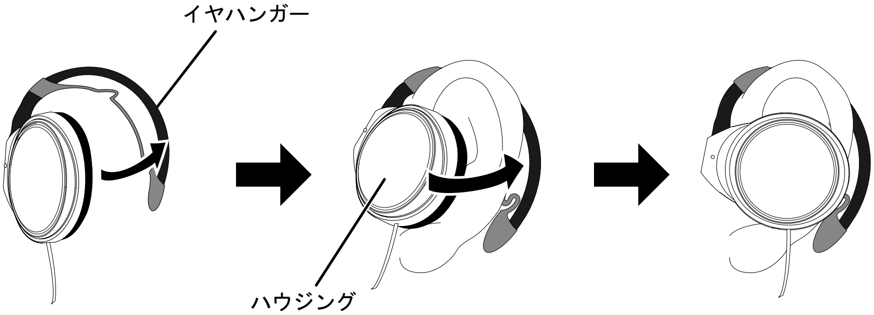
2 ヘッドホンアンテナをパソコン本体に接続します。



3 ヘッドホンの左右を確かめます。



4 イヤハンガーを、止まる位置まで開いてから耳に掛け、ハウジングが耳にフィットするように、押し当てて装着します。



次のページへ

重要

- 旅行先など普段使用している場所から離れた場所でワンセグ放送を視聴する場合には、再度チャンネルを設定してください。
- パソコンにヘッドホンアンテナを近づけると映像や音声が止まったり、映像を見ることができない場合があります。
- 次のような電波の受信状況が悪い場所では映像や音声が止まったり、映像を見ることができない場合があります。
  - 放送局から遠い地域または極端に近い地域
  - 山間部やビルの陰
  - 移動中
  - 高圧線、ネオン、無線局の近くなど
  - 線路や交通量の多い道路の近くなど
  - 地下街、トンネルの中など
  - その他妨害電波が多かったり、電波が遮断されたりする場所など
- ヘッドホンアンテナは、構造上音が外にもれやすくなっています。交通機関や公共の場所では、音量を上げすぎて周囲の迷惑とならないようにご注意ください。

POINT

- 屋外でワンセグ放送を見る場合は、バッテリの残量が充分にあることを確認してください。
- ワンセグ放送を視聴する時はヘッドホンアンテナのコードを伸ばしてください。コードを伸ばしていないと、ワンセグ放送の電波を充分に受信できない場合があります。
- ワンセグ放送の映りが悪い場合には次の方法を試してください。
  - 見通しの良い場所に移動してみる
  - ヘッドホンアンテナやパソコンの向きを変えてみる

チャンネルを設定する

1 アンテナが接続されているかどうか確認してください。

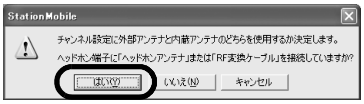
接続されていない場合は、「アンテナを接続する」（••▶P.53）をご覧になり、アンテナを接続してください。

2 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「PIXELA」→「StationMobile」→「StationMobile for FMV」の順にクリックします。

3 「OK」をクリックします。

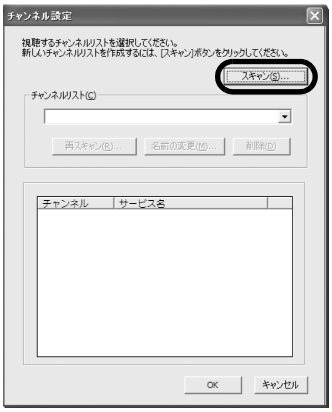


4 「はい」をクリックします。



5 「スキャン」をクリックします。

ご使用の地域で受信できるチャンネルのスキャンを開始します。



重要

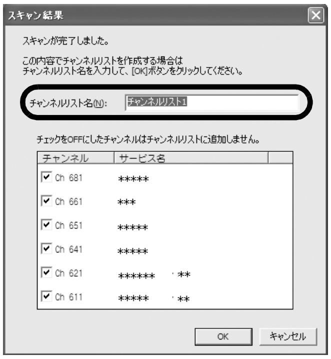
「チャンネルを検出できませんでした。」というメッセージが表示された場合

・スキャンしている地域でワンセグ放送が開始されているかどうか確認してください。
・周囲が建物や壁などに囲まれている場合は、電波を受信しにくくなるため、できるだけ見通しの良い場所に移動してからチャンネルのスキャンを行ってください。
・「アンテナを接続する」（••▶P.53）をご覧になり、アンテナが正しく接続されているか確認してください。

次のページへ

6 「チャンネルリスト名」に名前を入力します。

名前は任意で入力します。



7 受信するチャンネルを選択する。

受信しないチャンネルの☑を☐にします。

8 「OK」をクリックします。

手順 3 の「チャンネル設定」画面に戻ります。

9 「OK」をクリックします。

「StationMobile」の画面が表示され、ワンセグ放送を受信できるようになります。

「StationMobile」の詳しい操作方法や、ワンセグ放送については、次のマニュアルをご覧ください。

参照

▼「StationMobile」について

→「スタートボタン」→「すべてのプログラム」→「PIXELA」→「StationMobile」

→『StationMobile 取扱説明書』

▼ワンセグ放送について

『画面で見るマニュアル』»「001160」で検索

→「ワンセグ放送を見る」

10 指紋認証を使う

指紋認証を使うための準備をする

指紋認証とは、指紋センサーで指の指紋を読み取って行う認証のことです。
指紋認証を使うと、ユーザー名やパスワードの入力を省略し、指紋センサーに指をスライドさせるだけで次のようなことができます。

- Windows へログオンする
- ID（ユーザー名）やパスワードを必要とするホームページへログインする
- パスワードが設定されたスクリーンセーバーを解除する

ここでは、指紋認証を使えるようにするための初期設定について説明しています。

Windows のログオンパスワードを作成する

指紋認証では認証の情報として、Windows にログオンするときと同じユーザー名およびパスワードを使用します。指紋を登録する前に、必ず Windows のログオンパスワードを作成してください。

重要

すでに存在する Windows のユーザー名を変更しないでください

Windows にログオンするときのユーザー名（ご購入時は「Owner」または「Administrator」になっています）は変更しないでください。ユーザー名を変更すると、指紋認証を使って Windows にログオンできなくなります。
変更してしまった場合は、Windows のユーザー名を変更前のユーザー名に戻してください。
違うユーザー名を使いたい場合は、新しいユーザー名を作成してください。
新しいユーザー名を作成する場合は、次のマニュアルをご覧になり、指紋の登録まで行ってください。

参照

『画面で見るマニュアル』≫「000810」で検索
→「指紋認証を使う」→「指紋認証を複数のユーザーで使う」

1 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」をクリックします。

「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。

2 「作業する分野を選びます」から、「ユーザーアカウント」をクリックします。

3 「コントロールパネルを選んで実行します」から、「ユーザーアカウント」をクリックします。

この画面が表示されない場合は、手順 4 へ進んでください。

次のページへ

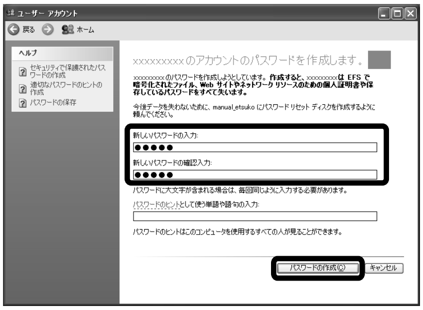
4 「変更するアカウントを選びます」から、Windows にログオンするときと同じユーザー名をクリックします。

ご購入時は「Owner」または「Administrator」でログオンしています。

5 「パスワードを作成する」をクリックします。



6 「新しいパスワードの入力」、「新しいパスワードの確認入力」にパスワードを入力し、「パスワードの作成」をクリックします。



7 ウィンドウの右上にある ☒ をクリックして、ウィンドウを閉じます。

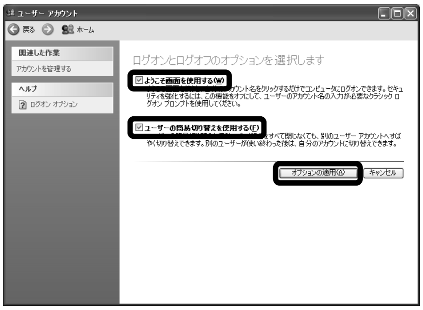
Windows XP Professional の機種をお使いの場合は、パソコンを再起動してください。再起動後、手順 1 〜手順 3 の操作を行った後に、次の手順 9 へ進んでください。

8 「コントロールパネルを選んで実行します」から、「ユーザーアカウント」をクリックします。

9 「ユーザーのログオンやログオフの方法を変更する」をクリックします。



10 「ようこそ画面を使用する」と「ユーザーの簡易切り替えを使用する」の□をクリックして☑にし、「オプションの適用」をクリックします。



11 ウィンドウの右上にある☒をクリックして、すべてのウィンドウを閉じます。

12 「スタート」ボタン→「終了オプション」をクリックし、「再起動」をクリックします。

パソコンが再起動します。

13 ユーザー名（ご購入時は「Owner」または「Administrator」になっています）をクリックし、手順 6 で作成したパスワードを入力してください。



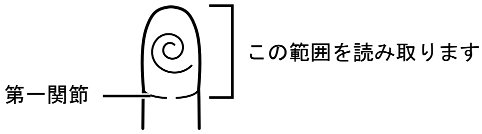
（画面は機種や状況により異なります）

指のスライドのさせ方

指紋の登録や認証を行う場合は、次のように指をスライドさせてください。認証の失敗を減らすことができます。

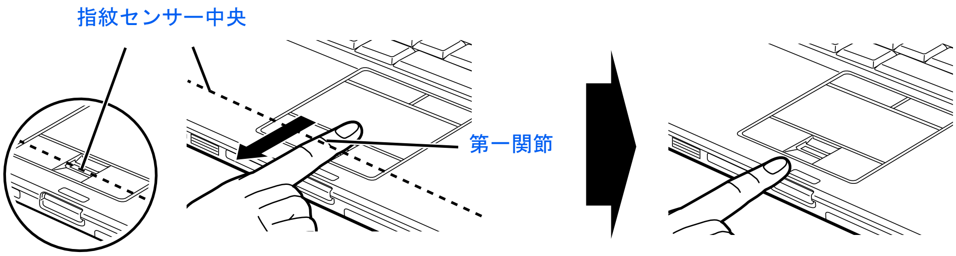
1 **操作する指の第一 関節が、指紋センサーの中央部に当たるように準備します。**

第一関節より先の部分が読み取り範囲となります。

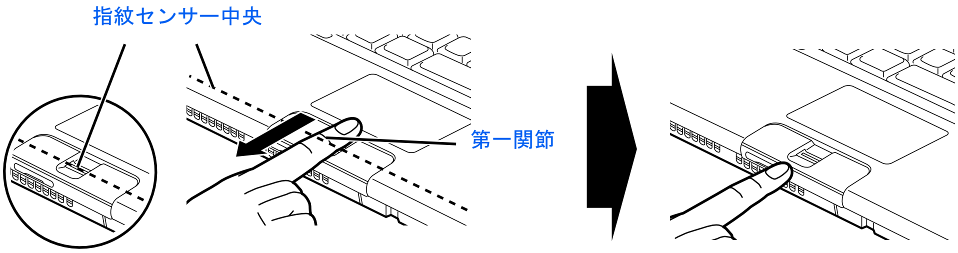


2 **指をまっすぐ伸ばして第一関節を指紋センサーに軽く当てます。**
すぐに手全体を手前に引くようにして、センサー部が完全に見えるまで水平にスライドさせます。

■MG75 シリーズの場合



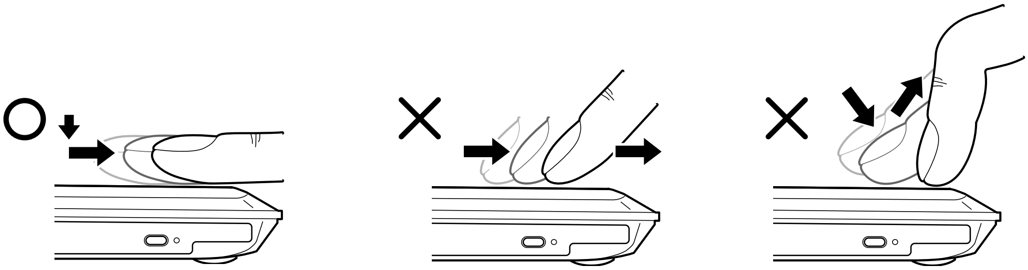
■MG55/50 シリーズの場合



重要

指を突き立てたり、引っかけるようにスライドさせないでください

指紋センサーに指のはら（指紋の中心部）が接触していなかったり、指を引っかけるようにスライドさせると指紋の読み取りがうまくいかない場合があります。
必ず、指のはら（指紋の中心部）が指紋センサーに接触するようにスライドさせてください。

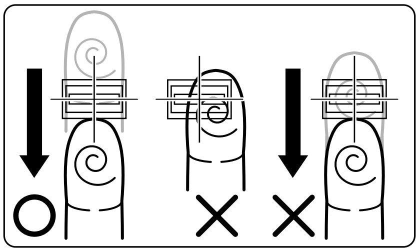


（イラストは機種や状況により異なります）

うまく認識されないときは

次の点に気を付けて操作してください。

・指の第一関節より先の部分が、指紋センサー上を通過するようにする
・指紋の渦の中心が、指紋センサーの中心を通過するようにする
・1 秒程度で通過するくらいの速さで、スーッと動かす



なお、親指など、指紋の渦の中心を合わせにくい指は、うまく認識できないことがあります。その際は、中心を通過させやすい指を登録してください。

指紋の読み取りがうまくいかない場合

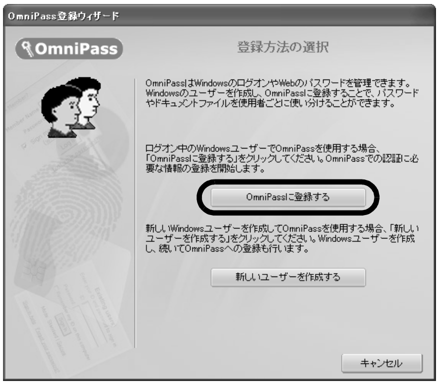
指紋センサーに指をスライドさせるときは、必ず指紋の入力画面の表示を確認し、指紋の入力が可能な状態になってから行ってください。指紋の入力画面が表示される前から指を指紋センサーに置くと、指紋の認証に失敗する場合があります。
また、指のスライドが速すぎたり遅すぎたりした場合にも、正常に認識できないことがあります。画面のメッセージに従って、スライドの速さを調節してください。

指紋を登録する

認証に必要な情報を登録します。指紋を登録する前に、「Windows のログオンパスワードを作成する」（••▶P.59）をご覧になり、必ず Windows のログオンパスワードを作成しておいてください。

1 **「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Softex」→「OmniPass 登録ウィザード」の順にクリックします。**

2 **「OmniPass に登録する」をクリックします。**



3 **Windows にログオンするときと同じパスワードを「パスワード」および「パスワードの確認」に入力し、「次へ」をクリックします。**

「ユーザー名」が Windows にログオンするときと同じことを確認してください。



重要

Windows のログオンパスワードを設定していない場合

Windows にログオンするときに、パスワードを使用するように設定してください。認証の情報には、Windows でログオンするときと同じユーザー名およびパスワードを使用します。Windows のログオンパスワードの作成については、「Windows のログオンパスワードを作成する」（••▶P.59）をご覧ください。

4 認証で使用する指をイラストで選択し、「次へ」をクリックします。



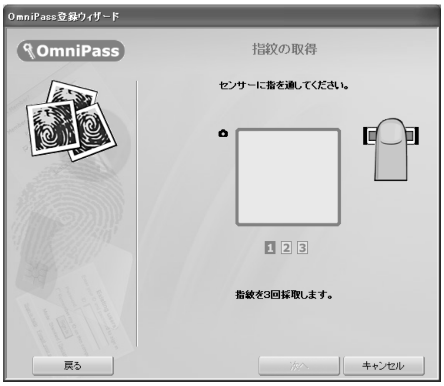
POINT

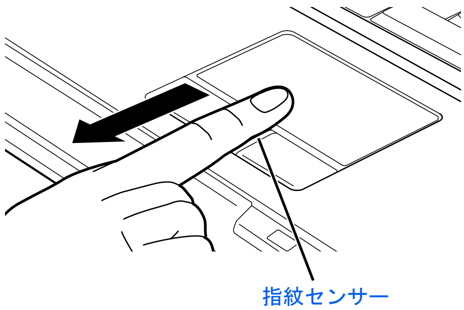
「練習」ボタンについて

この画面にある「練習」ボタンをクリックすると、指紋登録の練習をすることができます。指紋を登録する前に指紋の読み取りを練習されることをお勧めします。
「戻る」ボタン、または「完了」ボタンをクリックすると、指紋を登録する画面に戻ります。

5 指紋の読み取りが始まります。画面の表示にしたがって指紋の読み取りを行ってください。

指紋が正常に読み取れた場合にはイラストが緑色に、読み取れなかった場合にはイラストが赤色に表示されます。





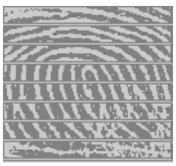
（イラストは機種や状況により異なります）

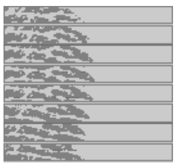
POINT

指紋は正しく登録してください

指紋の登録が正常に完了しても、指紋の読み取りが不完全なまま登録してしまうと、Windows のログオン時などの指紋認証に成功する可能性が低くなってしまう場合があります。指紋を登録するときの認証は、できるだけ次の条件を満たすように行ってください。

・読み取り領域の全体に指紋が読み取られている
・指紋の渦が画像の中に含まれている
・指紋の各方向の線がまんべんなく含まれている


良い例


悪い例

次のページへ

POINT

指紋の読み取りがうまくいかない場合

指紋センサーに指をスライドさせる方法を確認してください。スライドの方法については、「指のスライドのさせ方」（••▶P.62）をご覧ください。

6 「確認は成功しました」と表示されたら、「完了」をクリックします。

確認がうまくいかなかった場合には、「戻る」をクリックし、もう一度指紋の読み取りを行ってください。

7 「少なくとも 2 本の指の登録が必要です。引き続き、2 本目の指を登録してください。」というメッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。

手順 4 の操作に戻り、1 指目以外の指の指紋を登録してください。
1 つのユーザーアカウントにつき、10 本まで指紋の登録ができます。

8 2 指目の指紋を登録したら、「完了」をクリックします。

「操作が完了するまでお待ちください…」というウィンドウが表示され、登録が完了するとウィンドウが閉じます。



これで指紋の登録は完了です。
指紋認証については、次のマニュアルもご覧ください。

参照

- ▼指紋認証が使えなくなったら
- ▼複数ユーザーで指紋認証を使う

『画面で見るマニュアル』≫「000810」で検索
→「指紋認証を使う」

指紋認証を使う

指紋認証を使って Windows にログオンする

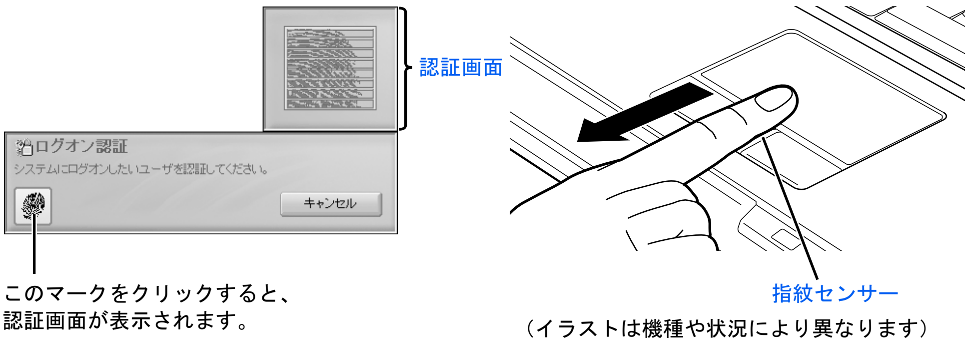
指紋認証を使うと Windows ログオンパスワードを入力する代わりに、指紋センサーに指をスライドさせるだけで Windows にログオンできるようになります。
また、複数ユーザーでパソコンを使用している場合には、ユーザー選択も省略することができます。

1　電源ボタン（⏻）を押して、Windows を起動します。

Windows が起動すると「ログオン認証」画面が表示されます。

2　指紋登録した指のいずれかを指紋センサーにスライドさせます。

指紋の認証に成功すると、Windows にログオンします。認証画面が表示されていない場合は、指紋のマークをクリックして、認証画面を表示させてください。



（イラストは機種や状況により異なります）

POINT

指紋の読み取りがうまくいかない場合

指紋センサーに指をスライドさせる方法を確認してください。スライドの方法については、「指のスライドのさせ方」（••▶P.62）をご覧ください。

指紋認証がうまくいかない場合はWindowsのログオンパスワードによる認証を行ってください

指紋認証を 3 回連続して失敗した場合には、指紋のマークに×印が付き、認証画面を閉じます。指紋のマークをクリックすると、もう一度認証画面が表示され、指紋認証ができるようになります。それでも指紋認証に失敗する場合は、Windows のログオンパスワードを使ってログオンしてください。

Windows のログオンパスワードを変更した場合

Windows のログオンパスワードを変更した後、指紋認証を行うと、「Omnipass はこのアカウントのパスワードが確認できないことを検出しました。パスワードを再確認してください。」という警告メッセージが表示されます。
この画面が表示されたら、変更した Windows のログオンパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。

指紋センサーについての注意

- 次のような場合は、故障および破損の原因となることがあります。
  - 指紋センサー表面をひっかいたり、先のとがったものでつついたりした場合
  - 指紋センサー表面を爪や硬いもので強く擦り、センサー表面にキズが入った場合
  - 泥などで汚れた手で指紋センサーに触れ、細かい異物などでセンサー表面にキズが入ったり、表面が汚れたりした場合
  - 指紋センサーのセンサー部にシールを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりした場合
- 次のような場合は、指紋の読み取りが困難になったり、認証率が低下したりすることがあります。指紋センサー表面はときどき清掃してください。
  - 指紋センサー表面がほこりや皮脂などで汚れている
  - 指紋センサー表面に汗などの水分が付着している
  - 指紋センサー表面が結露している
- 指紋の登録失敗や認証失敗が頻発する場合は、指紋センサー表面の清掃を行ってください。現象が改善されることがあります。
- 指紋センサーを清掃する際には、メガネ拭きなどの乾いたやわらかい布でセンサー表面の汚れを軽く拭き取ってください。
- 指紋センサーに指を置く前に金属に手を触れるなどして、静電気を取り除いてください。静電気が故障の原因となる場合があります。冬期など乾燥する時期は特にご注意ください。
- 長期間使用することにより、センサー周辺にゴミがたまることがありますが、先のとがったもので取り除かないようにしてください。

指紋認証をお使いになる場合の注意

- 本機能は指紋画像の特徴情報を認証するものです。このため、お客様によっては指紋の特徴情報が少なく、登録操作ができない場合があります。
- 指紋の登録には同一の指で 3 回の読み取りが必要です。異なる指で登録を行うと、認証できない場合があります。
- 指の状態が次のような場合は、指紋の登録が困難になったり、認証率（正しく指をスライドさせた際に指紋が認証される割合）が低下することがあります。なお、手を洗う、手を拭く、認証する指を変える、手荒れや乾いている場合はクリームを塗るなど、お客様の指の状態に合わせて対処することで、認証時の状況が改善されることがあります。
  - お風呂上がりなどで指がふやけている場合
  - 指に汗や脂が多く、指紋の間が埋まっている場合
  - 手が荒れたり、指に損傷（切傷、ただれなど）を負っている場合
  - 手が極端に乾燥していたり、乾燥肌の場合
  - 指が泥や油などで汚れている場合
  - 太ったり、やせたりして指紋が変化した場合
  - 磨耗して指紋が薄くなった場合
  - 指紋登録時に比べ、指紋認証時の指の表面状態が極端に異なる場合
  - 濡れたり、汗をかいたりしている場合
- センサー表面が濡れていたり結露していたりすると、誤作動の原因となります。柔らかい布で水分を取り除いてからご使用ください。
- 認証率はお客様の使用状況により異なります。
- 各指で指紋が異なりますので、必ず登録を行った指で認証の操作を行ってください。
- 指紋が正常に読み取れなかったときや、一定時間内に認証されなかったときは、警告メッセージが表示されます。
- 指紋認証技術は完全な本人認証・照合を保障するものではありません。当社では本製品を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関しても、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

11 LAN（有線 LAN）機能を使う

LAN（有線 LAN）機能を使うための、LAN コネクタについて説明します。
ここでは、主にインターネットに接続する場合を例に説明します。

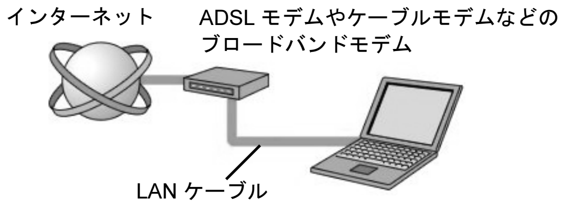
このパソコンの LAN 機能

このパソコンでは、次のものが標準で準備されています。

・LAN コネクタ（LAN ケーブル用）
　1000BASE-T/100BASE-T/10BASE-T 準拠

インターネットを使うときの接続例

次のイラストは、パソコンとブロードバンドモデムを LAN ケーブルで接続している一例です。ネットワークの形態によって使用する機器が異なりますので、ネットワークに合ったものをご購入ください。



ネットワークの種類やしくみについては、次のマニュアルをご覧ください。

参照

『画面で見るマニュアル』≫「390010」で検索
→「ネットワークの種類やしくみ」

LAN（有線 LAN）をお使いになる場合

LAN（有線 LAN）をお使いになる場合に必要なものなどを説明します。
ここでは、ブロードバンドインターネットにパソコンを接続する例を説明します。

必要なものを用意する

このパソコンの他に、次のものが必要です。

・ブロードバンドモデム
ADSL モデム、ケーブルモデムなど、インターネットの回線や、プロバイダにより異なります。
・ルーター
異なるネットワーク間の中継点に設置して、ネットワークの中を流れるデータをきちんと目的の場所（パソコンやプリンタなど）に届けるための機器。一般的には、LAN と外部のネットワーク（インターネット）を結ぶために使われます。
複数台のパソコンを接続する場合は必要です。ブロードバンドモデムに内蔵されている場合もあります。
なお、1000BASE-T の通信を行うためには、1000BASE-T に対応したものを使用してください。
・ハブ
ネットワーク上でケーブルを中継するための機器。
複数台のパソコンを接続する場合に必要です。ルーターに内蔵されている場合もあります。
1000BASE-T の通信を行うためには、1000BASE-T に対応したものを使用してください。
・LAN ケーブル（ストレートタイプ）
お使いになるネットワークのスピードに合ったものが必要です。接続するネットワーク機器のマニュアルをご覧になり、必要なものをご用意ください。
1000BASE-T の通信を行うためには、エンハンストカテゴリ 5（カテゴリ 5E）以上の LAN ケーブルを使用してください。

LAN を使うための設定

LAN をお使いになるためには、必要な機器を LAN ケーブルで接続し、ネットワークの設定を行います。インターネットに接続する場合は、プロバイダより提供されるマニュアルに従って、機器の設定をしてください。

接続、設定の方法については、次のマニュアルでも説明しています。

参照

『画面で見るマニュアル』≫「000100」で検索
→「LAN を使う」

12 無線 LAN 機能を使う

無線 LAN 機能について説明します。
ここでは、主にインターネットに接続する場合を例に説明します。

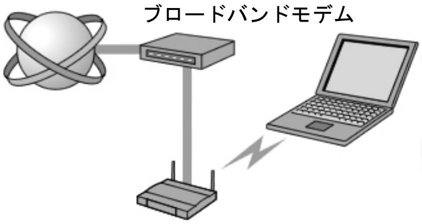
このパソコンの無線 LAN 機能

このパソコンでは、次のものが標準で準備されています。別途、無線 LAN アダプタを購入する必要はありません。

・無線 LAN
IEEE802.11a（J52/W52/W53）準拠、IEEE802.11b 準拠、IEEE802.11g 準拠（Wi-Fi® 準拠）

インターネットを使うときの接続例

次のイラストは、ブロードバンドインターネットと接続している一例です。ネットワークの形態によって使用する機器が異なりますので、ネットワークに合ったものをご購入ください。



無線 LAN でインターネットに接続するには、無線 LAN アクセスポイントを利用する「インフラストラクチャ通信」という方式で通信します。
ブロードバンドモデムに電波を送受信する無線 LAN アクセスポイントを接続し、無線 LAN アクセスポイントとパソコンの間を、LAN ケーブルの代わりに電波で送受信します。

ネットワークの種類やしくみについては、次のマニュアルをご覧ください。

参照

『画面で見るマニュアル』≫「390010」で検索
→「ネットワークの種類やしくみ」

無線 LAN をお使いになる場合

2

必要なものを用意する

無線 LAN を使うためには、このパソコンの他に次のものが必要です。

・無線 LAN アクセスポイント
LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用して情報のやり取りを行う無線 LAN では、「無線 LAN アクセスポイント」と呼ばれる機器が必要となります。無線 LAN アクセスポイントには主に次のものがあります。
- ワイヤレス LAN ステーション
- ワイヤレスブロードバンドルーター

無線 LAN を使うための設定

無線 LAN を使うには、無線 LAN アクセスポイントとパソコンの設定を行います。
初めて設定する場合は、使用するネットワークの情報やデータの暗号化などを、無線 LAN アクセスポイントとパソコンの両方に設定します。すでにネットワークで使われている無線 LAN アクセスポイントに接続する場合は、無線 LAN アクセスポイントにあわせた設定を、パソコンにのみ行います。

無線 LAN については、次のマニュアルをご覧ください。

参照

▼無線 LAN の設定

『画面で見るマニュアル』»「001000」で検索
→「無線 LAN を使う」

▼別売の無線 LAN カードなどを使う

『画面で見るマニュアル』»「001020」で検索
→「別売の無線 LAN アダプタをお使いになる上でのご注意」

ここでは、設定の流れを説明します。

1 無線 LAN の電波を発信する。
無線 LAN の電波は、停止したり発信したりすることができます。無線 LAN を使うときには、電波が発信されている必要があります。ワイヤレススイッチが ON になっているか、「Mr.WLANner」により電波が発信されているか確認します。

2 無線 LAN アクセスポイントの設定をする。
ネットワーク設定や無線 LAN アクセスポイントのセットアップ、SSID（または ESSID）や暗号化の設定などを行います。無線 LAN アクセスポイントに添付されているマニュアルを参照しながら設定します。

次のページへ

3 パソコンに無線 LAN の設定をする。

無線 LAN で通信する無線 LAN アクセスポイントとパソコンでは、同じ SSID（または ESSID）を設定します。また、セキュリティのためにデータの暗号化を設定しますが、暗号レベルは同じにする必要があります。
このパソコンでは、「Mr.WLANner」というユーティリティを使用して設定を行います。Windows XP のプロパティでは設定できませんのでご注意ください。
設定には、無線 LAN アクセスポイントに添付されているマニュアルも参照します。

4 ネットワークに接続するための設定をする。

インターネットなどのネットワークに接続するための設定をします。
インターネットに接続する場合は、無線 LAN アクセスポイントとブロードバンドモデムを LAN ケーブルで接続し、インターネット接続を確認します。
プロバイダや回線事業者との契約から、インターネット接続の確認、セキュリティ対策までを行ってください。
インターネット接続を確認する場合は、次のマニュアルをご覧ください。

参照

『画面で見るマニュアル』
→「3. インターネット／E メール」→「インターネットに接続するための設定」→「インターネットに接続するまでの流れ」

作業手順や詳しい内容は、接続・設定する機器やプロバイダのマニュアルなどもあわせてご覧ください。

13 Bluetooth ワイヤレステクノロジー

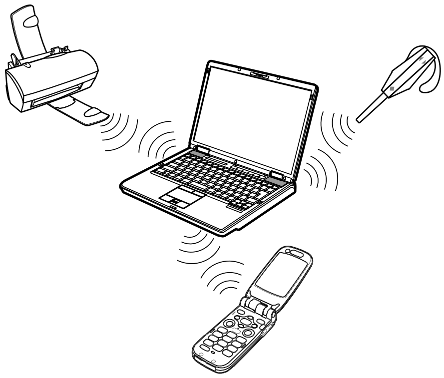
MG75 シリーズの場合のみ

このパソコンに内蔵のBluetoothワイヤレステクノロジーを使用して、他のBluetoothワイヤレステクノロジー機器を接続することができます。
ここでは、Bluetooth ワイヤレステクノロジーについて説明しています。

2

Bluetooth ワイヤレステクノロジーとは

Bluetooth ワイヤレステクノロジーとは、ヘッドセットや携帯電話などの周辺機器や他のBluetooth ワイヤレステクノロジー内蔵のパソコンなどに、ケーブルを使わず電波で接続できる技術です。



必要なものを用意する

- Bluetooth ワイヤレステクノロジー機器
  Bluetooth ワイヤレステクノロジーを利用してこのパソコンと接続する機器です。Bluetooth ワイヤレステクノロジー機器には次のようなものがあります。お使いになる目的に応じてご用意ください。
  キーボード、マウス、プリンタ、ヘッドセット、携帯電話
- Bluetooth ワイヤレステクノロジー機器のマニュアル
  お使いになる Bluetooth ワイヤレステクノロジー機器によって設定方法が異なる場合があります。必ず Bluetooth ワイヤレステクノロジー機器のマニュアルもご覧ください。

Bluetooth ワイヤレステクノロジーをお使いになる場合には、次のマニュアルもご覧ください。

参照

『画面で見るマニュアル』»「001110」で検索
→「Bluetooth ワイヤレステクノロジーを使う」

Memo

3

第 3 章

周辺機器の設置／設定／増設

周辺機器の使用上の注意やメモリの増やし方などを説明しています。目的に合わせてお読みください。

1 周辺機器をお使いになる場合

ここでは、周辺機器をお使いになる場合に知っておいていただきたいことについて説明します。

⚠警告

・周辺機器の取り付け／取り外しを行うときは、本製品や周辺機器の電源を切った状態で行ってください。
AC アダプタや電源コードがコンセントにつながっている場合は、それらをコンセントから抜いてください。
感電の原因となります。

・周辺機器のケーブルは、このマニュアルをよく読み、正しく接続してください。
誤った接続状態でお使いになると、感電・火災の原因となります。また、パソコン本体および周辺機器が故障する原因となります。

周辺機器とは？

プリンタ、デジタルカメラ、メモリなどの装置のことです。パソコンの各種コネクタに接続したり、パソコン本体内部に取り付けたりして、パソコンの機能を拡張したり、処理速度を高めたりできます。

周辺機器を取り付けると

メモリを取り付けてパソコンの処理能力を上げたり、プリンタを接続して印刷したりなど、パソコンでできることがさらに広がります。
また、デジタルカメラで撮影した画像をパソコンに取り込んで、E メールに添付したりできます。

周辺機器を取り付けるには

周辺機器の取り付け方について、本マニュアル内では、「メモリの増設／交換」（••▶P.81）について記載しています。また、画面で見るマニュアルでも、紹介しています。
お使いになる周辺機器のマニュアルとあわせてご覧ください。

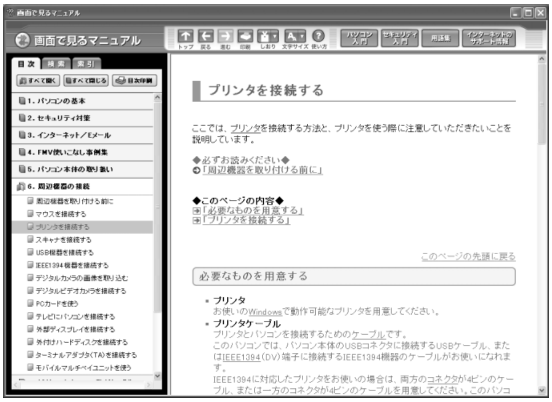
参照

『画面で見るマニュアル』
→「5. パソコン本体の取り扱い」または「6. 周辺機器の接続」

「画面で見るマニュアル」で調べる

1　表示される画面の中から取り付けたい周辺機器をクリックします。

例えば、プリンタを接続する場合は、「6. 周辺機器の接続」→「プリンタを接続する」をクリックします。



POINT

手順の中に「動画を見る」というボタンがあるとき

ボタンをクリックすると、インターネットに接続して手順の動画をご覧いただけます。このとき、FMV ユーザー登録で発行された「ユーザー登録番号」と「パスワード」が必要です。ユーザー登録については、『サポート＆サービスのご案内』をご覧ください。

画面で見るマニュアルの使い方については、次のマニュアルをご覧ください。

参照

『ＦＭＶ 活用ガイド』

周辺機器の取り扱い上の注意

周辺機器を取り付けるときは、次のことに注意してください。

- **周辺機器によっては設定作業が必要です**

  パソコンの周辺機器の中には、接続するだけでは正しく使えないものがあります。このような機器は、接続した後で設定作業を行う必要があります。例えば、プリンタや PC カードを使うには、取り付けた後に「ドライバのインストール」という作業が必要です。周辺機器の接続は、このマニュアルをよくご覧になり、正しく行ってください。

- **ドライバなどがフロッピーディスクで添付されている場合**

  周辺機器によっては、添付のドライバなどがフロッピーディスクで提供されているものがあります。オプションの FDD ユニット（USB）をご購入になり、接続した上でドライバをインストールしてください。

- **マニュアルをご覧ください**

  ケーブル類を接続する場合は、次のマニュアルをご覧になり、接続時に間違いがないようにしてください。

  参照

  ▼ケーブル類を接続する場合

  『画面で見るマニュアル』

  →「6. 周辺機器の接続」

  誤った接続状態で使用すると、このパソコンおよび周辺機器が故障する原因となることがあります。

  また、「画面で見るマニュアル」で説明している周辺機器の取り付け方法は一例です。「画面で見るマニュアル」とあわせて周辺機器のマニュアルも必ずご覧ください。

- **純正品をお使いください**

  弊社純正の周辺機器については、販売店にお問い合わせになるか、富士通ショッピングサイト「WEB MART（ウェブマート）」（http://www.fujitsu-webmart.com/）をご覧ください。

  他社製品につきましては、このパソコンで正しく動作するかどうか、保証いたしかねます。他社製品をお使いになる場合は、製造元のメーカーにお問い合わせくださいますようお願いいたします。

- **ACPI に対応した周辺機器をお使いください**

  このパソコンは ACPI モードに設定されています。ACPI モードに対応していない周辺機器をお使いの場合、省電力機能などが正しく動作しない場合があります。

  また、このパソコンでは、低レベルのスタンバイ（ACPI S1）をサポートしていません。

  お使いになる周辺機器が低レベルのスタンバイのみサポートしている場合は、パソコンをスタンバイや休止状態にしないでください。

- **周辺機器の電源は、パソコンの電源を入れる前に入れてください**

  電源を入れて使う周辺機器を取り付けた場合は、周辺機器の電源を入れてからパソコンの電源を入れてください。また、周辺機器の電源を切るときは、パソコンの電源を切ってから周辺機器の電源を切ってください。

重要

- **コネクタに周辺機器を取り付ける場合は、コネクタの向きを確認し、まっすぐ接続してください。**
- **複数の周辺機器を取り付ける場合は、1 つずつ取り付けて設定を行ってください。**

2 メモリの増設／交換

パソコンに取り付けられるメモリを増やすことによって、パソコンの処理能力などを上げることができます。ここでは、メモリを増やす方法について説明します。

必要なものを用意する

メモリ（拡張 RAM（ラム）モジュール）

FMVNM25J1（256MB）、FMVNM51J1（512MB）、FMVNM1GJ1（1GB）のメモリが取り付けられます。
MG75T, MG75TN, MG55T, MG55TN をお使いの方は、FMVNM2GJ1（2GB）のメモリも取り付けられます。

プラスのドライバー（ドライバーサイズ：1 番）

このパソコンのネジを取り外すときに使います。ネジの頭をつぶさないように、ネジのサイズ（M2.5）に合ったものをお使いください。他のドライバーを使うと、ネジの頭をつぶすおそれがあります。

メモリの組み合わせ表

次の表で、メモリの容量とメモリスロットの組み合わせを確認してください。
次の表以外の組み合わせにすると、パソコンが正常に動作しない場合があります。
なお、組み合わせによってはあらかじめ取り付けられているメモリを交換したり、取り外したりする必要があります。

■メモリの組み合わせ表（ご購入時）

お使いの機種	総容量	スロット 1	スロット 2
MG55T, MG50T/V, MG50T MG75TN, MG55TN, MG50TN/V, MG50TN（512MB を選択）	512MB	512MB	なし
MG75T MG75TN, MG55TN, MG50TN/V, MG50TN（1GB を選択）	1GB	512MB	512MB
MG75TN, MG55TN, MG50TN/V, MG50TN（2GB を選択）	2GB	1GB	1GB

■メモリの組み合わせ表（増設時）

・MG75T, MG55T, MG55TN の場合

総容量	スロット１	スロット２
512MB	256MB	256MB
	512MB	なし
768MB	512MB	256MB
1GB	512MB	512MB
	1GB	なし
1.25GB	1GB	256MB
1.5GB	1GB	512MB
2GB	1GB	1GB
	2GB	なし
3GB	2GB	1GB
4GB（最大）［注］	2GB	2GB

注： OS が使用可能な領域は最大 3.25GB になります。

・MG50T/V, MG50TN/V, MG50T, MG50TN の場合

総容量	スロット１	スロット２
512MB	256MB	256MB
	512MB	なし
768MB	512MB	256MB
1GB	512MB	512MB
	1GB	なし
1.25GB	1GB	256MB
1.5GB	1GB	512MB
2GB（最大）	1GB	1GB

POINT

次の表の組み合わせはデュアルチャネル対応です。

総容量	スロット１	スロット２
512MB	256MB	256MB
1GB	512MB	512MB
2GB	1GB	1GB
4GB［注］	2GB	2GB

注： MG75T, MG75TN, MG55T, MG55TN のみ対応しています。

メモリ取り扱い上の注意

⚠警告

・メモリの取り付け／取り外しを行う場合は、必ずパソコン本体の電源を切り、AC アダプタやバッテリ、周辺機器を取り外してください。スタンバイや休止状態では、取り付け／取り外しを行わないでください。
感電の原因となります。また、データが消失したり、パソコン本体やメモリが故障する原因となることがあります。

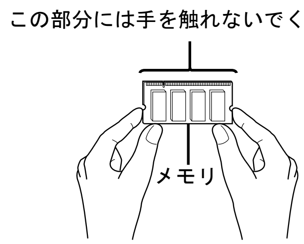
・取り外したカバー、キャップ、ネジ、電池などの部品は、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。
誤って飲み込むと窒息の原因となります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

⚠注意

・メモリの取り付け位置のすぐそばに高温になる部分があります。
メモリの取り付け／取り外しを行うときは、パソコン本体の電源を切って、しばらくしてから行ってください。火傷の原因になることがあります。

メモリを取り付けるときの注意

- メモリは、静電気に対して非常に弱い部品で構成されており、人体に留まった静電気により破壊される場合があります。メモリを取り扱う前に、一度金属質のものに手を触れて、静電気を放電してください。
- 操作に必要な箇所以外には手を触れないでください。故障の原因となることがあります。
- パソコンの部品など不要な物を、パソコン本体内部に落とさないでください。故障の原因となることがあります。
- メモリは何度も抜き差ししないでください。故障の原因となることがあります。
- メモリの表面の端子や IC 部分に触れて押さないでください。また、メモリに強い力をかけないようにしてください。
- メモリがうまく取り付けられないときは、無理にメモリを取り付けず、いったんメモリを抜いてから再度メモリを取り付け直してください。
- メモリは下図のようにふちを両手で持ってください。金色の線が入っている部分（端子）には、絶対に手を触れないでください。指の油分などが付着すると、接触不良の原因となることがあります。



メモリを増やす

メモリは、パソコン本体下面の拡張 RAM モジュールスロットに取り付けます。
メモリスロットにメモリを取り付ける場合と、取り付けられているメモリを交換する場合で手順が異なります。お使いのパソコンの状態を確認して、正しく行ってください。

POINT

メモリの取り付け手順の動画を見ることができます

サポートページ（http://azby.fmworld.net/support/）で、メモリの取り付け手順の動画がご覧になれます。

1 パソコン本体の電源を切り、AC アダプタを取り外します。

2 液晶ディスプレイを閉じ、パソコン本体を裏返します。

3 内蔵バッテリパックを取り外します。

内蔵バッテリの取り外し方は、「内蔵バッテリパックを交換する」（••▶P.32）をご覧ください。

4 メモリの組み合わせを確認します。

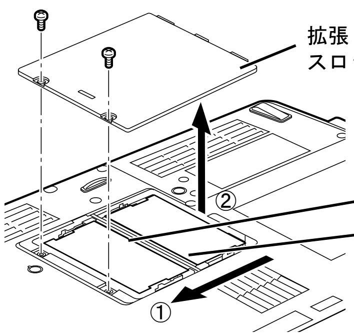
メモリの組み合わせについては、「メモリの組み合わせ表」（••▶P.81）をご覧ください。

取り付けられているメモリを新しいメモリに交換する場合は手順 6 へ、メモリを追加する場合は手順 5 へ進んでください。

5 ネジ（2ヶ所）を取り外し、拡張 RAM モジュールスロットカバーを取り外します。

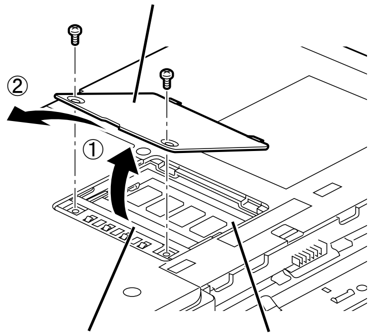
■ MG75 シリーズの場合

①拡張 RAM モジュールスロットカバーを矢印の方向にスライドし、②取り外します。



■MG55/50 シリーズの場合

①拡張 RAM モジュールスロットカバーを斜め上の方向に持ち上げ、②取り外します。

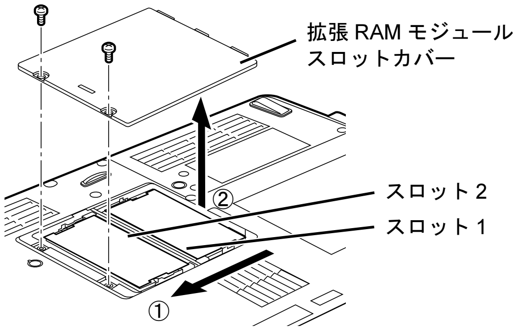


この後は、手順 8 へ進んでください。

6 ネジ（2ヶ所）を取り外し、拡張 RAM モジュールスロットカバーを取り外します。

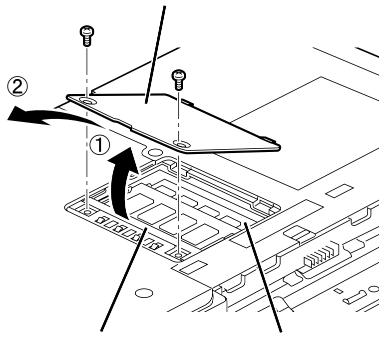
■MG75 シリーズの場合

①拡張 RAM モジュールスロットカバーを矢印の方向にスライドし、②取り外します。



■MG55/50 シリーズの場合

①拡張 RAM モジュールスロットカバーを斜め上の方向に持ち上げ、②取り外します。

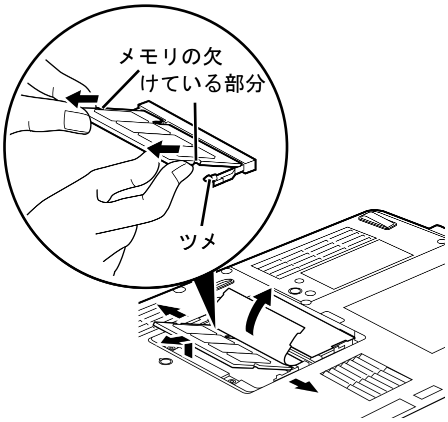


次のページへ

7 メモリを取り外します。

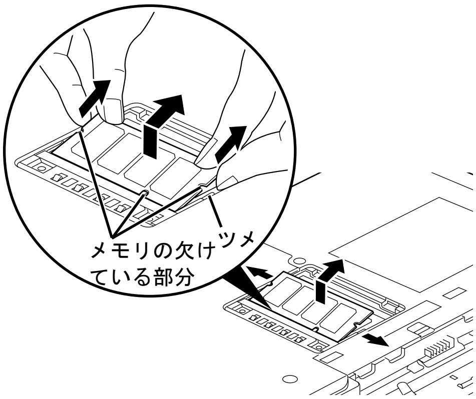
スロット部のカバーをめくり、メモリを押さえている両側のツメを左右に開くと、メモリが少し斜めに持ち上がるので、両手でメモリのふちを持って斜め上の方向に引っ張り、スロットから取り外します。

■MG75 シリーズの場合



■MG55/50 シリーズの場合

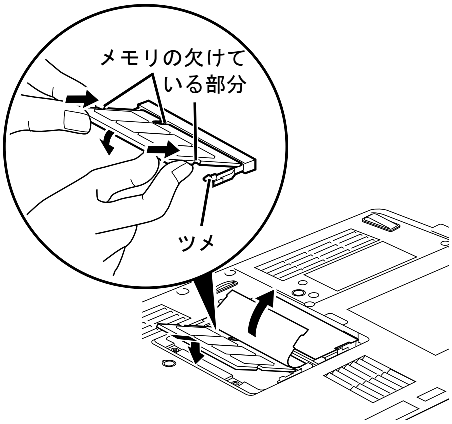
スロット 2 のメモリを交換したい場合は、スロット1のメモリも取り外してください。



8 メモリを取り付けます。

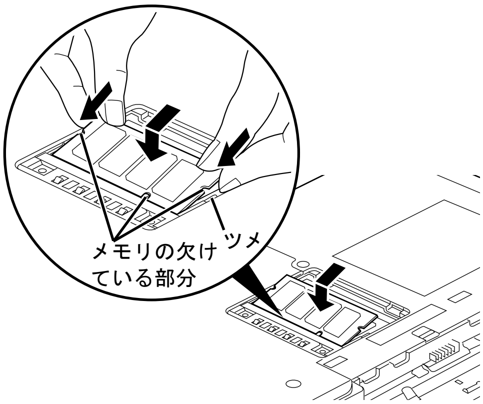
両手でメモリのふちを持って、メモリの欠けている部分とコネクタの突起を合わせ、斜め上からしっかりと差し込み、パチンと音がするまで下に倒します。
メモリを押さえている両側のツメが、きちんとはまったことを確認してください。

■MG75 シリーズの場合



■MG55/50 シリーズの場合

スロット 2 のメモリを取り付ける場合は、スロット 1 のメモリをあらかじめ取り外してから取り付けてください。



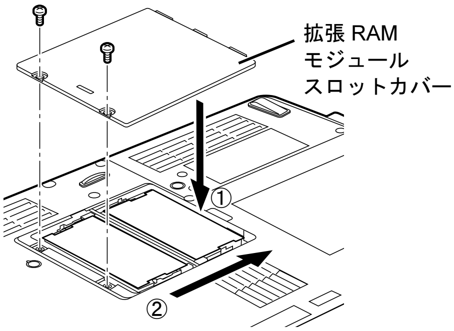
重要

- メモリを取り付けるときは、端子や IC に触れないようにして、両手でメモリのふちを持って取り付けてください。
- メモリの表面の端子や IC 部分に触れて押さないでください。また、メモリに強い力をかけないようにしてください。
- メモリがうまく取り付けられないときは、無理にメモリを取り付けず、いったんメモリを抜いてから再度メモリを取り付け直してください。無理にメモリを取り付けようとすると、メモリやコネクタが破損する原因となります。

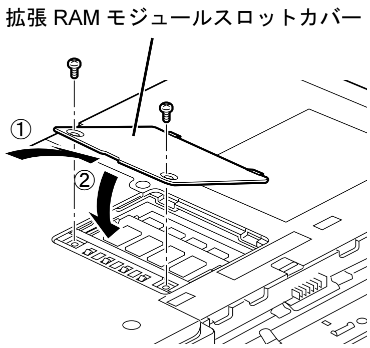
9 拡張 RAM モジュールスロットカバーを取り付けます。

手順 5 または手順 6 で外したカバーを取り付けます。

■ MG75 シリーズの場合



■ MG55/50 シリーズの場合



10 内蔵バッテリパックを取り付けます。

内蔵バッテリの取り付け方は、「内蔵バッテリパックを交換する」（▶P.32）をご覧ください。

続いて、メモリが正しく取り付けられたか、メモリの容量を確認しましょう（▶P.88）。

メモリ容量を確認する

1 パソコン本体の電源を入れます。

重要

画面に何も表示されないときは

メモリが正しく取り付けられていないと、電源を入れたときに「拡張メモリエラー」または「メモリエラーです。」というメッセージや英語のメッセージが表示されたり、画面に何も表示されないことがあります。その場合は電源ボタンで電源を切り、メモリを取り付け直してください。

2 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の順にクリックします。

「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。

3 「パフォーマンスとメンテナンス」→「システム」の順にクリックします。

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

4 ○で囲んだ部分の数値が、増やしたメモリの分だけ増えているかどうかを確認します。

メモリ容量の数値が正しくない場合は、メモリがきちんと取り付けられているかどうかを確認してください。



メモリ容量の表示はお使いのパソコンによって異なります。

このパソコンではメモリの一部をグラフィック用メモリとして使用するため、8MB 少なく表示されます。

お使いのシステム構成によってはさらに 1MB 少なく表示される場合があります。

5 「OK」をクリックします。

「パフォーマンスとメンテナンス」ウィンドウに戻ります。

4

第 4 章

お手入れ

1 FMV のお手入れ

ここでは、FMV を快適にお使いいただくための、日ごろのお手入れについて説明しています。

パソコン本体および添付品のお手入れ

⚠警告

・感電やけがの原因となるので、お手入れの前に、次の事項を必ず行ってください。
  ・パソコン本体の電源を切り、AC アダプタとバッテリを取り外してください。
  ・プリンタなど、周辺機器の電源を切り、パソコン本体から取り外してください。

重要

キーボードのキーとキーの間のホコリなどをとる場合

・圧縮空気などを使ってゴミを吹き飛ばしてください。掃除機などを使って、キーを強い力で引っ張らないでください。
・OA 用のエアースプレーを使うときは、お使いになるエアースプレーの注意書きなどをよくお読みください。誤った使い方をすると、パソコン本体に結露や静電気を発生させることがあり、故障の原因となる場合があります。

パソコン本体の汚れは、乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。
汚れがひどい場合は、水または水で薄めた中性洗剤を含ませた布を、固く絞って拭き取ってください。中性洗剤を使用して拭いた場合は、水に浸した布を固く絞って中性洗剤を拭き取ってください。また、拭き取りの際は、パソコン本体に水が入らないよう十分に注意してください。なお、シンナーやベンジンなど揮発性の強いものや、化学ぞうきんは絶対に使わないでください。

POINT

キートップが外れてしまった場合

次のマニュアルをご覧ください。

参照

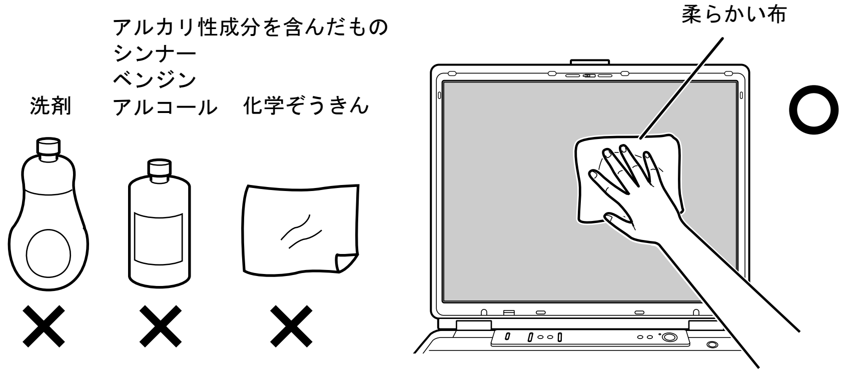
『画面で見るマニュアル』»「000220」で検索
→「各部の名称と働き：キーボード」→「キートップが外れてしまった場合について」

液晶ディスプレイのお手入れ

液晶ディスプレイの汚れは、乾いた柔らかい布かメガネ拭きで軽く拭き取ってください。水や中性洗剤を使用して拭かないでください。

重要

・液晶ディスプレイの表面を固いものでこすったり、強く押しつけたりしないでください。液晶ディスプレイが破損するおそれがあります。
・市販のクリーナーや化学ぞうきんを使うと、成分によっては、画面の表面のコーティングを傷めるおそれがあります。次のものは、使わないでください。
　・アルカリ性成分を含んだもの
　・界面活性剤を含んだもの
　・アルコール成分を含んだもの
　・シンナーやベンジンなどの揮発性の強いもの
　・研磨剤を含むもの



4

Memo

5

第 5 章

仕様一覧

次の表は各機種ごとの特徴を示しています。詳しい仕様については、次ページからの仕様一覧をご覧ください。

製品名称（品名）	USB マウス（光学式）	スティックポイント	ワンセグチューナー	無線 LAN	Bluetooth
MG75T	×	○	×	○	○
MG75TN	△	○	×	○	○
MG55T	×	×	×	○	×
MG55TN	△	×	×	○	×
MG50T/V	×	×	○	○	×
MG50TN/V	△	×	○	○	×
MG50T	×	×	×	○	×
MG50TN	△	×	×	○	×

○：添付または搭載、△：機能を選択した場合に添付または搭載、×：非添付または非搭載

1 パソコン本体の仕様

製品名称			FMV-BIBLO MG75T
CPU [注1]			インテル® Core™ Duo プロセッサー T2400 （インテル® Centrino® Duo モバイル・テクノロジー搭載）
			1.83GHz
キャッシュメモリ			1 次：64KB × 2、2 次：2MB（CPU 内蔵）
チップセット			モバイル インテル® 945GM Express チップセット
システム・バス			667MHz
メインメモリ			標準 1GB（512MB × 2［デュアルチャネル対応］、PC2-5300 DDR2 SDRAM ） ECC なし最大 4GB [注33]
拡張メモリスロット			× 2（空きスロットなし）
表示機能	グラフィック アクセラレータ		チップセットに内蔵
	ビデオメモリ		標準 128MB （最大 224MB、最大 128MB、最大 64MB から選択、メインメモリと共有）[注5]
	液晶ディスプレイ [注6]		高輝度・低反射 14.1 型 TFT カラー 1024 × 768 ドット （スーパーファイン液晶）
	解像度／発色数		液晶ディスプレイ表示：1024 × 768 ドット／ 1677 万色 [注8] 外部ディスプレイ表示：最大 1600 × 1200 ドット／最大 1677 万色 液晶ディスプレイと外部ディスプレイの同時表示：1024 × 768 ドット／ 1677 万色 [注8]
フロッピーディスク ドライブ [注9]			FDD ユニット（USB）（別売）
ハードディスクドライブ [注10]			約 120GB [注13]（Ultra ATA/100）
CD/DVD ドライブ [注11] [注12]			スーパー マルチドライブ
オーディオ機能	オーディオコントローラ		チップセット内蔵＋ High Definition Audio コーデック
	PCM 録音再生機能		サンプリング周波数　最大 192kHz、24 ビット（再生時）[注14]、 サンプリング周波数　最大 48kHz、16 ビット（録音時）[注14]、 同時録音再生機能
	MIDI 再生機能		OS 標準機能にてサポート
	スピーカー		ステレオスピーカー内蔵
キーボード			OADG 配列準拠 86 キー（Windows キー、アプリケーションキー付）
ポインティングデバイス			フラットポイントおよびスティックポイント
指紋センサー			スライド式／スクロール機能あり
ワンタッチボタン			プログラマブル× 4（モード切り替えボタン付）
通信機能	モデム		データ：最大 56kbps（V.92 規格準拠）[注15] ／ FAX：14.4kbps
	LAN		1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 準拠
	無線 LAN	規格	IEEE 802.11a（J52/W52/W53）準拠、IEEE 802.11b 準拠、 IEEE 802.11g 準拠（Wi-Fi® 準拠）[注17]
		内蔵 アンテナ	ダイバーシティ方式
	Bluetooth ワイヤレス テクノロジー		Bluetooth Specification Ver.2.0+EDR

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
注記については、「仕様一覧の注記について」（P.102）をご覧ください。

製品名称		FMV-BIBLO MG75T
インターフェース	ExpressCard	× 1 スロット（ExpressCard/34 モジュール、ExpressCard/54 モジュール対応）[注18]
	PC カード	PC Card Standard 準拠 Type Ⅰ / Ⅱ × 1 スロット（CardBus 対応）
	SD カード／メモリースティック／xD- ピクチャーカード[注19]	1 スロット（メモリースティック PRO 対応）
	外部ディスプレイ／ビデオ出力	アナログ RGB ミニ D-SUB 15 ピン× 1 ／ S 端子変換ケーブル［FMV-NCBL3］（別売）S ビデオ（NTSC）× 1
	USB[注20]	USB2.0 準拠× 3（右側面× 1、背面× 2）
	IEEE1394（DV）[注21]	4 ピン× 1（S400）
	モデム	RJ-11 × 1
	LAN	RJ-45 × 1
	オーディオ	ヘッドホン・ラインアウト兼用[注22]：φ3.5mm ステレオ・ミニジャック （出力：1mW 以上、負荷インピーダンス 32Ω）／ マイク・ラインイン兼用[注23]：φ3.5mm ステレオ・ミニジャック （入力：100mV 以下、入力インピーダンス（AC）1.5kΩ 以上（DC）2kΩ 以上）
	状態表示	モノクロ液晶、アイコン表示
	モバイルマルチベイ	× 1（専用コネクタ）
電源供給方式	AC アダプタ	AC アダプタ入力 AC100V ～ 240V、出力 DC19V（3.37A）
	バッテリ	内蔵バッテリパック：リチウムイオン、10.8V ／ 5200mAh、 増設バッテリパック（別売）：リチウムイオン、10.8V ／ 3800mAh
バッテリ稼働時間（JEITA 測定法 1.0[注24]）	内蔵バッテリパック	約 5.7 時間
	内蔵バッテリパック＋増設用バッテリ	約 9.8 時間
バッテリ充電時間[注26]	内蔵バッテリパック	約 4.0 時間
	内蔵バッテリパック＋増設用バッテリ	約 6.5 時間
消費電力[注27]		約 16W ／約 68W
省エネ法に基づくエネルギー消費効率[注28]		S 区分 0.00010（AAA）[注34]
		I 区分 0.0007[注35]
外形寸法		W307.0 × D248.0 × H26.4 ～ 33.5mm（突起部含まず）
質量	モバイルマルチベイ用カバー搭載時	約 1.82kg
	CD/DVD ドライブユニット搭載時	約 2.02kg
盗難防止用ロック取り付け穴		あり
温湿度条件		温度 5 ～ 35 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（動作時）、 温度 -10 ～ 60 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（非動作時） （ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと）
プレインストール OS		Windows XP Home Edition[注31]（DirectX 9.0c 対応）
サポート OS		Windows XP Home Edition、Windows XP Professional[注32]

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
注記については、「仕様一覧の注記について」（••▶P.102）をご覧ください。

5

<table>
<tr><th colspan="3">製品名称</th><th>FMV-BIBLO MG55T</th><th>FMV-BIBLO MG50T/V</th><th>FMV-BIBLO MG50T</th></tr>
<tr><td colspan="3" rowspan="2">CPU [注1]</td><td>インテル® Core™ Duo プロセッサー T2300 [注29]</td><td colspan="2">インテル® Celeron® M プロセッサー 430</td></tr>
<tr><td>1.66GHz</td><td colspan="2">1.73GHz</td></tr>
<tr><td colspan="3">キャッシュメモリ</td><td>1 次：64KB × 2、2 次：2MB（CPU 内蔵）</td><td colspan="2">1 次：64KB、2 次：1MB（CPU 内蔵）</td></tr>
<tr><td colspan="3">チップセット</td><td>モバイル インテル® 945GM Express チップセット</td><td colspan="2">モバイル インテル® 940GML Express チップセット</td></tr>
<tr><td colspan="3">システム・バス</td><td>667MHz</td><td colspan="2">533MHz</td></tr>
<tr><td colspan="3">メインメモリ</td><td>標準 512MB（512MB × 1、PC2-5300 DDR2 SDRAM）ECC なし最大 4GB [注33]</td><td colspan="2">標準 512MB（512MB × 1、PC2-4200 DDR2 SDRAM）ECC なし最大 2GB [注2] [注3]</td></tr>
<tr><td colspan="3">拡張メモリスロット</td><td colspan="3">× 2（空きスロット× 1）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">表示機能</td><td colspan="2">グラフィック アクセラレータ</td><td colspan="3">チップセットに内蔵</td></tr>
<tr><td colspan="2">ビデオメモリ</td><td colspan="3">標準 128MB
（最大 224MB、最大 128MB、最大 64MB から選択、メインメモリと共有）[注5]</td></tr>
<tr><td colspan="2">液晶ディスプレイ [注6]</td><td colspan="3">高輝度・低反射 13.3 型 TFT カラー 1024 × 768 ドット （スーパーファイン液晶）</td></tr>
<tr><td colspan="2">解像度／発色数</td><td colspan="3">液晶ディスプレイ表示：1024 × 768 ドット／ 1677 万色 [注8]
外部ディスプレイ表示：最大 1600 × 1200 ドット／最大 1677 万色
液晶ディスプレイと外部ディスプレイの同時表示：1024 × 768 ドット／ 1677 万色 [注8]</td></tr>
<tr><td colspan="3">フロッピーディスク ドライブ [注9]</td><td colspan="3">FDD ユニット（USB）（別売）</td></tr>
<tr><td colspan="3">ハードディスクドライブ [注10]</td><td colspan="3">約 100GB [注13]（Ultra ATA/100）</td></tr>
<tr><td colspan="3">CD/DVD ドライブ [注11] [注12]</td><td colspan="3">スーパー マルチドライブ</td></tr>
<tr><td rowspan="4">オーディオ機能</td><td colspan="2">オーディオコントローラ</td><td colspan="3">チップセット内蔵＋ High Definition Audio コーデック</td></tr>
<tr><td colspan="2">PCM 録音再生機能</td><td colspan="3">サンプリング周波数　最大 192kHz、24 ビット（再生時）[注14]、
サンプリング周波数　最大 48kHz、16 ビット（録音時）[注14]、
同時録音再生機能</td></tr>
<tr><td colspan="2">MIDI 再生機能</td><td colspan="3">OS 標準機能にてサポート</td></tr>
<tr><td colspan="2">スピーカー</td><td colspan="3">ステレオスピーカー内蔵</td></tr>
<tr><td colspan="3">キーボード</td><td colspan="3">OADG 配列準拠 86 キー（Windows キー、アプリケーションキー付）</td></tr>
<tr><td colspan="3">ポインティングデバイス</td><td colspan="3">フラットポイント</td></tr>
<tr><td colspan="3">指紋センサー</td><td colspan="3">スライド式／スクロール機能あり</td></tr>
<tr><td colspan="3">ワンタッチボタン</td><td colspan="3">プログラマブル× 4（モード切り替えボタン付）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">通信機能</td><td colspan="2">モデム</td><td colspan="3">データ：最大 56kbps（V.92 規格準拠）[注15] ／ FAX：14.4kbps</td></tr>
<tr><td colspan="2">LAN</td><td colspan="3">1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 準拠</td></tr>
<tr><td rowspan="2">無線 LAN [注16]</td><td>規格</td><td colspan="3">IEEE 802.11a（J52/W52/W53）準拠、IEEE 802.11b 準拠、
IEEE 802.11g 準拠（Wi-Fi® 準拠）[注17]</td></tr>
<tr><td>内蔵 アンテナ</td><td colspan="3">ダイバーシティ方式</td></tr>
<tr><td colspan="3">ワンセグチューナー</td><td>—</td><td>受信チャンネル：000-999ch</td><td>—</td></tr>
</table>

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
注記については、「仕様一覧の注記について」（••▶P.102）をご覧ください。

製品名称		FMV-BIBLO MG55T	FMV-BIBLO MG50T/V	FMV-BIBLO MG50T
インターフェース	ExpressCard	―		
	PC カード	PC Card Standard 準拠 Type Ⅰ / Ⅱ × 1 スロット（CardBus 対応）		
	SD カード／メモリースティック／xD- ピクチャーカード[注19]	1 スロット（メモリースティック PRO 対応）		
	外部ディスプレイ／ビデオ出力	アナログ RGB ミニ D-SUB 15 ピン× 1 ／ S 端子変換ケーブル［FMV-NCBL3］（別売）S ビデオ（NTSC）× 1		
	USB[注20]	USB2.0 準拠× 3（右側面× 1、背面× 2）		
	IEEE1394（DV）[注21]	4 ピン× 1（S400）		
	モデム	RJ-11 × 1		
	LAN	RJ-45 × 1		
	オーディオ	ヘッドホン・ラインアウト兼用[注22]：φ3.5mm ステレオ・ミニジャック （出力：1mW 以上、負荷インピーダンス 32Ω）／ マイク・ラインイン兼用[注23]：φ3.5mm ステレオ・ミニジャック （入力：100mV 以下、入力インピーダンス（AC）1.5kΩ 以上（DC）2kΩ 以上）		
	状態表示	LED		
	モバイルマルチベイ	× 1（専用コネクタ）		
電源供給方式	AC アダプタ	AC アダプタ入力 AC100V ～ 240V、出力 DC19V（3.37A）		
	バッテリ	内蔵バッテリパック：リチウムイオン、10.8V ／ 5200mAh、 増設バッテリパック（別売）：リチウムイオン、10.8V ／ 3800mAh		
バッテリ稼働時間（JEITA 測定法 1.0[注24]）	内蔵バッテリパック	約 6.0 時間	約 3.9 時間	約 4.0 時間
	内蔵バッテリパック＋増設用バッテリ	約 10.5 時間	約 6.5 時間	約 6.8 時間
バッテリ充電時間[注26]	内蔵バッテリパック	約 4.0 時間		
	内蔵バッテリパック＋増設用バッテリ	約 6.5 時間		
消費電力[注27]		約 16W ／約 68W	約 26W ／約 68W	
省エネ法に基づくエネルギー消費効率[注28]		S 区分 0.00011（AAA）[注34]	S 区分 0.00019（AAA）[注34]	
		I 区分 0.0008[注35]	I 区分 0.0022[注35]	
外形寸法		W295.0 × D238.5 × H30.7 ～ 33.0mm （突起部含まず）		
質量	モバイルマルチベイ用カバー搭載時	約 1.69kg	約 1.70kg	約 1.69kg
	CD/DVD ドライブユニット搭載時	約 1.89kg	約 1.90kg	約 1.89kg
盗難防止用ロック取り付け穴		あり		
温湿度条件		温度 5 ～ 35 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（動作時）、 温度 -10 ～ 60 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（非動作時） （ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと）		
プレインストール OS		Windows XP Home Edition[注31]（DirectX 9.0c 対応）		
サポート OS		Windows XP Home Edition、Windows XP Professional[注32]		

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
注記については、「仕様一覧の注記について」（••▶P.102）をご覧ください。

5

製品名称			FMV-BIBLO MG75TN
CPU 注1			インテル® Core™ Duo プロセッサー T2400 （インテル® Centrino® Duo モバイル・テクノロジー搭載） 1.83GHz
キャッシュメモリ			1 次：64KB × 2、2 次：2MB（CPU 内蔵）
チップセット			モバイル インテル® 945GM Express チップセット
システム・バス			667MHz
メインメモリ★			標準 512MB ／ 1GB（512MB × 2［デュアルチャネル対応］）／ 2GB（1GB × 2［デュアルチャネル対応］） （PC2-5300 DDR2 SDRAM）ECC なし最大 4GB 注33
拡張メモリスロット			× 2（空きスロット× 1）注4
表示機能	グラフィック アクセラレータ		チップセットに内蔵
	ビデオメモリ		標準 128MB （最大 224MB、最大 128MB、最大 64MB から選択、メインメモリと共有）注5
	液晶ディスプレイ注6 ★		高輝度・低反射 14.1 型 TFT カラー 1024 × 768 ドット／ 14.1 型 1400 × 1050 ドット（高解像度液晶）
	解像度／発色数注7		液晶ディスプレイ表示：1024 × 768 ドット／ 1677 万色注8 外部ディスプレイ表示：最大 1600 × 1200 ドット／最大 1677 万色 液晶ディスプレイと外部ディスプレイの同時表示：1024 × 768 ドット／ 1677 万色注8
フロッピーディスク ドライブ注9			FDD ユニット（USB）（別売）
ハードディスクドライブ注10 ★			約 80GB ／約 100GB ／約 120GB 注13（Ultra ATA/100）
CD/DVD ドライブ 注11 注12 ★			CD-RW/DVD-ROM ドライブ／スーパーマルチドライブ
オーディオ機能	オーディオコントローラ		チップセット内蔵＋ High Definition Audio コーデック
	PCM 録音再生機能		サンプリング周波数　最大 192kHz、24 ビット（再生時）注14、 サンプリング周波数　最大 48kHz、16 ビット（録音時）注14、 同時録音再生機能
	MIDI 再生機能		OS 標準機能にてサポート
	スピーカー		ステレオスピーカー内蔵
キーボード			OADG 配列準拠 86 キー（Windows キー、アプリケーションキー付）
ポインティングデバイス			フラットポイントおよびスティックポイント ご購入時の選択によっては、USB マウス（光学式）が添付されます。
指紋センサー			スライド式／スクロール機能あり
ワンタッチボタン			プログラマブル× 4（モード切り替えボタン付）
通信機能	モデム		データ：最大 56kbps（V.92 規格準拠）注15 ／ FAX：14.4kbps
	LAN		1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 準拠
	無線 LAN	規格	IEEE 802.11a（J52/W52/W53）準拠、IEEE 802.11b 準拠、 IEEE 802.11g 準拠（Wi-Fi® 準拠）注17
		内蔵 アンテナ	ダイバーシティ方式
	Bluetooth ワイヤレス テクノロジー		Bluetooth Specification Ver.2.0+EDR

インターネットの富士通ショッピングサイト「WEB MART（ウェブマート）」でのみご購入いただける製品の仕様です。
★　ご購入時に選択したものをご覧ください。
パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
注記については、「仕様一覧の注記について」（▶P.102）をご覧ください。

製品名称		FMV-BIBLO MG75TN
インターフェース	ExpressCard	×1スロット（ExpressCard/34モジュール、ExpressCard/54モジュール対応）[注18]
インターフェース	PCカード	PC Card Standard準拠Type Ⅰ / Ⅱ ×1スロット（CardBus対応）
インターフェース	SDカード／メモリースティック／xD-ピクチャーカード[注19]	1スロット（メモリースティックPRO対応）
インターフェース	外部ディスプレイ／ビデオ出力	アナログRGBミニD-SUB 15ピン×1／S端子変換ケーブル［FMV-NCBL3］（別売）Sビデオ（NTSC）×1
インターフェース	USB[注20]	USB2.0準拠×3（右側面×1、背面×2）
インターフェース	IEEE1394（DV）[注21]	4ピン×1（S400）
インターフェース	モデム	RJ-11×1
インターフェース	LAN	RJ-45×1
インターフェース	オーディオ	ヘッドホン・ラインアウト兼用[注22]：φ3.5mmステレオ・ミニジャック（出力：1mW以上、負荷インピーダンス32Ω）／マイク・ラインイン兼用[注23]：φ3.5mmステレオ・ミニジャック（入力：100mV以下、入力インピーダンス（AC）1.5kΩ以上（DC）2kΩ以上）
インターフェース	状態表示	モノクロ液晶、アイコン表示
インターフェース	モバイルマルチベイ	×1（専用コネクタ）
電源供給方式	ACアダプタ	ACアダプタ入力AC100V～240V、出力DC19V（3.37A）
電源供給方式	バッテリ	内蔵バッテリパック：リチウムイオン、10.8V／5200mAh、増設バッテリパック（別売）：リチウムイオン、10.8V／3800mAh
バッテリ稼働時間（JEITA測定法1.0[注24]）[注25]	内蔵バッテリパック	約5.7時間
バッテリ稼働時間（JEITA測定法1.0[注24]）[注25]	内蔵バッテリパック＋増設用バッテリ	約9.8時間
バッテリ充電時間[注26]	内蔵バッテリパック	約4.0時間
バッテリ充電時間[注26]	内蔵バッテリパック＋増設用バッテリ	約6.5時間
消費電力[注27]		約16W／約68W
省エネ法に基づくエネルギー消費効率[注28]		S区分0.00010（AAA）[注34]
省エネ法に基づくエネルギー消費効率[注28]		I区分0.0007[注35]
外形寸法		W307.0×D248.0×H26.4～33.5mm（突起部含まず）
質量[注30]	モバイルマルチベイ用カバー搭載時	約1.82kg
質量[注30]	CD/DVDドライブユニット搭載時	約2.02kg
盗難防止用ロック取り付け穴		あり
温湿度条件		温度5～35℃／湿度20～80%RH（動作時）、温度-10～60℃／湿度20～80%RH（非動作時）（ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと）
プレインストールOS		Windows XP Professional[注31]（DirectX 9.0c対応）またはWindows XP Home Edition[注31]（DirectX 9.0c対応）
サポートOS		Windows XP Home Edition、Windows XP Professional[注32]

インターネットの富士通ショッピングサイト「WEB MART（ウェブマート）」でのみご購入いただける製品の仕様です。
パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
注記については、「仕様一覧の注記について」（••▶P.102）をご覧ください。

製品名称			FMV-BIBLO MG55TN	FMV-BIBLO MG50TN/V	FMV-BIBLO MG50TN
CPU 注1			インテル® Core™ Duo プロセッサー T2300 注29	インテル®Celeron® M プロセッサー 430	
			1.66GHz	1.73GHz	
キャッシュメモリ			1次：64KB × 2、2次：1MB（CPU 内蔵）	1次：64KB、2次：1MB（CPU 内蔵）	
チップセット			モバイル インテル® 945GM Express チップセット	モバイルインテル® 940GML Express チップセット	
システム・バス			667MHz	533MHz	
メインメモリ★			標準 512MB ／ 1GB（512MB × 2［デュアルチャネル対応］）／ 2GB（1GB × 2［デュアルチャネル対応］）（PC2-5300 DDR2 SDRAM）ECC なし最大 4GB 注33	標準 512MB ／ 1GB（512MB × 2［デュアルチャネル対応］）／ 2GB（1GB × 2［デュアルチャネル対応］）（PC2-4200 DDR2 SDRAM）ECC なし最大 2GB 注2 注3	
拡張メモリスロット			× 2（空きスロット× 1） 注4		
表示機能	グラフィックアクセラレータ		チップセットに内蔵		
	ビデオメモリ		標準 128MB（最大 224MB、最大 128MB、最大 64MB から選択、メインメモリと共有） 注5		
	液晶ディスプレイ注6		高輝度・低反射 13.3 型 TFT カラー 1024 × 768 ドット（スーパーファイン液晶）		
	解像度／発色数		液晶ディスプレイ表示：1024 × 768 ドット／ 1677 万色注8 外部ディスプレイ表示：最大 1600 × 1200 ドット／最大 1677 万色 液晶ディスプレイと外部ディスプレイの同時表示：1024 × 768 ドット／ 1677 万色注8		
フロッピーディスクドライブ注9			FDD ユニット（USB）（別売）		
ハードディスクドライブ注10 ★			約 80GB ／約 100GB ／ 120GB 注13（Ultra ATA/100）		
CD/DVD ドライブ 注11 注12 ★			CD-RW/DVD-ROM ドライブ／スーパーマルチドライブ		
オーディオ機能	オーディオコントローラ		チップセット内蔵＋ High Definition Audio コーデック		
	PCM 録音再生機能		サンプリング周波数　最大 192kHz、24 ビット（再生時） 注14、 サンプリング周波数　最大 48kHz、16 ビット（録音時） 注14、 同時録音再生機能		
	MIDI 再生機能		OS 標準機能にてサポート		
	スピーカー		ステレオスピーカー内蔵		
キーボード			OADG 配列準拠 86 キー（Windows キー、アプリケーションキー付）		
ポインティングデバイス			フラットポイント ご購入時の選択によっては、USB マウス（光学式）が添付されます。		
指紋センサー			スライド式／スクロール機能あり		
ワンタッチボタン			プログラマブル× 4（モード切り替えボタン付）		
通信機能	モデム		データ：最大 56kbps（V.92 規格準拠） 注15 ／ FAX：14.4kbps		
	LAN		1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 準拠		
	無線 LAN 注16	規格	IEEE 802.11a（J52/W52/W53）準拠、IEEE 802.11b 準拠、IEEE 802.11g 準拠（Wi-Fi® 準拠） 注17		
		内蔵アンテナ	ダイバーシティ方式		
ワンセグチューナー			―	受信チャンネル：000-999ch	―

インターネットの富士通ショッピングサイト「WEB MART（ウェブマート）」でのみご購入いただける製品の仕様です。

★　ご購入時に選択したものをご覧ください。
パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
注記については、「仕様一覧の注記について」（P.102）をご覧ください。

製品名称		FMV-BIBLO MG55TN	FMV-BIBLO MG50TN/V	FMV-BIBLO MG50TN
インターフェース	ExpressCard	—		
	PC カード	PC Card Standard 準拠 Type Ⅰ / Ⅱ × 1 スロット（CardBus 対応）		
	SD カード／メモリースティック／xD- ピクチャーカード[注19]	1 スロット（メモリースティック PRO 対応）		
	外部ディスプレイ／ビデオ出力	アナログ RGB ミニ D-SUB 15 ピン× 1 ／ S 端子変換ケーブル［FMV-NCBL3］（別売）S ビデオ（NTSC） × 1		
	USB [注20]	USB2.0 準拠× 3（右側面× 1、背面× 2）		
	IEEE1394（DV）[注21]	4 ピン× 1（S400）		
	モデム	RJ-11 × 1		
	LAN	RJ-45 × 1		
	オーディオ	ヘッドホン・ラインアウト兼用[注22]：φ3.5mm ステレオ・ミニジャック （出力：1mW 以上、負荷インピーダンス 32Ω）／ マイク・ラインイン兼用[注23]：φ3.5mm ステレオ・ミニジャック （入力：100mV 以下、入力インピーダンス（AC）1.5kΩ 以上（DC）2kΩ 以上）		
	状態表示	LED		
	モバイルマルチベイ	× 1（専用コネクタ）		
電源供給方式	AC アダプタ	AC アダプタ入力 AC100V 〜 240V、出力 DC19V（3.37A）		
	バッテリ	内蔵バッテリパック：リチウムイオン、10.8V ／ 5200mAh、 増設バッテリパック（別売）：リチウムイオン、10.8V ／ 3800mAh		
バッテリ稼働時間（JEITA 測定法 1.0 [注24]）	内蔵バッテリパック	約 6.0 時間	約 3.9 時間	約 4.0 時間
	内蔵バッテリパック＋増設用バッテリ	約 10.5 時間	約 6.5 時間	約 6.8 時間
バッテリ充電時間[注26]	内蔵バッテリパック	約 4.0 時間		
	内蔵バッテリパック＋増設用バッテリ	約 6.5 時間		
消費電力[注27]		約 16W ／約 68W	約 26W ／約 68W	
省エネ法に基づくエネルギー消費効率[注28]		S 区分 0.00011（AAA）[注34]	S 区分 0.00019（AAA）[注34]	
		I 区分 0.0008 [注35]	I 区分 0.0022 [注35]	
外形寸法		W295.0 × D238.5 × H30.7 〜 33.0mm （突起部含まず）		
質量	モバイルマルチベイ用カバー搭載時	約 1.69kg	約 1.70kg	約 1.69kg
	CD/DVD ドライブユニット搭載時	約 1.89kg	約 1.90kg	約 1.89kg
盗難防止用ロック取り付け穴		あり		
温湿度条件		温度 5 〜 35 ℃／湿度 20 〜 80%RH（動作時）、 温度 -10 〜 60 ℃／湿度 20 〜 80%RH（非動作時） （ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと）		
プレインストール OS		Windows XP Professional [注31]（DirectX 9.0c 対応） または Windows XP Home Edition [注31]（DirectX 9.0c 対応）		
サポート OS		Windows XP Home Edition、Windows XP Professional [注32]		

インターネットの富士通ショッピングサイト「WEB MART（ウェブマート）」でのみご購入いただける製品の仕様です。
パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
注記については、「仕様一覧の注記について」（••▶P.102）をご覧ください。

仕様一覧の注記について

注 1　ソフトウェアによっては CPU 名表記が異なることがあります。

注 2　PC2-5300 DDR2 SDRAM も使用できますが、PC2-4200 DDR2 SDRAM として動作します。

注 3　メモリ容量を 2GB にするには、搭載済みのメモリをすべて取り外し、1GB の拡張 RAM モジュールを 2 枚取り付ける必要があります。

注 4　ご購入時の選択によっては、空きスロットがない場合もあります。

注 5　Intel® Dynamic Video Memory Technology（DVMT）を使用しており、パソコンの動作状況によりメモリ容量が最大設定まで変化します。

注 6
- 液晶ディスプレイは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります。これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品で使用している液晶ディスプレイは、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 長時間同じ表示を続けると残像となることがありますが故障ではありません。残像は、しばらく経つと消えます。この現象を防ぐためには、省電力機能を使用してディスプレイの電源を切るか、スクリーンセーバーの使用をお勧めします。
- 表示する条件によってはムラおよび微少な斑点が目立つことがありますが故障ではありません。

注 7　ご購入時に 14.1 型 1400 × 1050 ドット （高解像度液晶）を選択した場合には、次の仕様になります。

液晶ディスプレイ表示：1400 × 1050 ドット / 1677 万色 注 8
外部ディスプレイ表示：最大 1600 × 1200 ドット / 最大 1677 万色
液晶ディスプレイと外部ディスプレイの同時表示：1400 × 1050 ドット / 1677 万色 注 8

注 8　グラフィックアクセラレータの出力する最大発色数は 1677 万色ですが、液晶ディスプレイではディザリング機能によって、擬似的に表示されます。また、外部ディスプレイに出力する場合は、お使いの外部ディスプレイがこの解像度をサポートしている必要があります。

注 9　フロッピーディスクは、フォーマットした環境（メーカー、機種、ソフトウェア）によっては、データを読み書きできない場合があります。対応メディアは、2HD（1.44MB, 1.2MB）と 2DD（720KB）です。なお、1.44MB 以外のフォーマットはできません。

注 10　容量は、1MB=1000^2byte、1GB=1000^3byte 換算値です。

注 11　モバイルマルチベイに搭載しています。各ドライブの主な仕様は次の通りです。
なお、各数値は仕様上の最大限であり、使用メディアや動作環境によって異なる場合があります。

スーパーマルチドライブ

CD/DVD	読出速度（最大）	書込速度（最大）	書換速度（最大）
CD-ROM	24 倍速	－	－
CD-R	－	24 倍速	－
CD-RW	－	10 倍速	10 倍速
DVD-ROM	8 倍速	－	－
DVD-RAM	－	5 倍速	5 倍速
DVD-R	－	8 倍速	－
DVD-R DL	－	4 倍速	－
DVD-RW	－	6 倍速	6 倍速
DVD+R	－	8 倍速	－
DVD+R DL	－	4 倍速	－
DVD+RW	－	8 倍速	8 倍速

CD-RW/DVD-ROM ドライブ

CD/DVD	読出速度（最大）	書込速度（最大）	書換速度（最大）
CD-ROM	24 倍速	－	－
CD-R	－	24 倍速	－
CD-RW	－	10 倍速	10 倍速
DVD-ROM	8 倍速	－	－

注 12　オプションで「増設用内蔵バッテリユニット」を搭載可能です。

注 13　C ドライブは「マイリカバリ」用の領域に約 300MB が占有されています。そのため、「マイコンピュータ」のハードディスクの総容量は、マニュアルの記載よりも約 300MB 少なく表示されます。
なお、ハードディスクの区画の数や種別を変更したり、外付けドライブを接続した状態では、「マイリカバリ」が正常に動作しなくなります。ご了承ください。

注 14　使用できるサンプリングレートは、ソフトウェアによって異なります。

注 15
- 56000bps は V.92 の理論上の最高速度であり、実際の通信速度は回線の状況により変化します。V.92 の 33600bps を超える通信速度は受信時のみで、送信時は 33600bps が最高速度となります。また、日本国内の一般公衆回線、あるいは構内交換機経由での通信においては同規格での通信が行えない場合があります。
- 本モデムは、電気通信事業法による技術基準適合認定を取得しています。
回線認定番号：A05-0413001

注 16　・Super AG™ に対応しています。Super AG™ は Super AG™ に対応した無線 LAN アクセスポイントとの通信を行うときのみ利用できます。

・無線 LAN の仕様については、次のマニュアルをご覧ください。

『画面で見るマニュアル』»「000840」で検索
→「無線 LAN」

注 17　・Wi-Fi® 準拠とは、無線 LAN の相互接続性を保証する団体「Wi-Fi Alliance」の相互接続性テストに合格していることを示します。

注 18　・ExpressCard/34 モジュールと ExpressCard/54 モジュールは同時に使用できません。

・ExpressCard™ Compliance ID ：EC100073（MG75T, MG75TN）

注 19　・SD メモリーカード、メモリースティックや xD- ピクチャーカードの同時使用はできません。

・すべての SD メモリーカード、メモリースティックや xD- ピクチャーカードの動作を保証するものではありません。

・メモリースティック、メモリースティック PRO、メモリースティック Duo などのメモリースティックでは、マジックゲート機能が必要なデータの記録／再生はできません。

・SDHC メモリーカードには対応していません。

・SD メモリーカード、miniSD カードは、著作権保護機能（CPRM）に対応しています。
このパソコンでは「MOOCS PLAYER」や「SD-Jukebox」というソフトで SD-Audio 形式でファイルの読み書きを行うときに、SD メモリーカード、または miniSD カードの著作権保護機能（CPRM）が有効になります。
「MOOCS PLAYER」や「SD-Jukebox」については次のページをご覧ください。
「MOOCS PLAYER」（http://moocs.com/）
「SD-Jukebox」（http://panasonic.jp/support/software/sdjb/index.html）

・マルチメディアカード（MMC）やセキュアマルチメディアカードには対応していません。

・miniSD メモリーカードやメモリースティック Duo ／メモリースティック PRO Duo をお使いの場合は、アダプタが必要になります。必ず miniSD メモリーカードを miniSD メモリーカードアダプタに、メモリースティック Duo ／メモリースティック PRO Duo をメモリースティック Duo アダプタにセットしてからお使いください。

注 20　すべての USB 対応周辺機器について動作保証するものではありません。

注 21　すべての IEEE1394 対応周辺機器について動作保証するものではありません。

注 22　OS 上で設定を変更することにより、ラインアウト端子として使用することもできます。ラインアウト端子として使用する場合には、次の仕様となります。
（出力：1mW 以上、負荷インピーダンス 10kΩ）

注 23　OS 上で設定を変更することにより、ラインイン端子として使用することもできます。ラインイン端子として使用する場合には、次の仕様となります。
（入力：100mV 以下、入力インピーダンス（AC）10kΩ 以上（DC）2kΩ 以上）

注 24　社団法人 電子情報技術産業協会の『JEITA バッテリ動作時間測定法（Ver1.0）』（http://it.jeita.or.jp/mobile/index.html）。
なお、本体のみ、省電力制御あり、満充電の場合。ただし、実際の稼働時間は使用条件により異なります。

注 25　ご購入時に 14.1 型 1400 × 1050 ドット（高解像度液晶）を選択した場合のバッテリ稼動時間は次のとおりです。

製品名称	FMV-BIBLO MG75TN
内蔵バッテリパック	約 5.2 時間
内蔵バッテリパック＋増設用バッテリ	約 8.9 時間

注 26　電源 OFF またはスタンバイ時。なお、装置の動作状況により充電時間が長くなることがあります。

注 27　・動作時の最小消費電力（Windows 起動直後の消費電力）/ 最大消費電力です。また、AC アダプタ運用時の消費電力です。

・電源 OFF 時の消費電力は、約 1W 以下（満充電時）です。
なお、電源 OFF 時のエネルギー消費を回避するには、AC ケーブルの電源プラグをコンセントから抜いてください。

注 28　エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を、省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。

注 29　インテル® バーチャライゼーション・テクノロジーには対応しておりません。

注 30　ご購入時に 14.1 型 1400 × 1050 ドット（高解像度液晶）を選択した場合の質量は次のとおりです。

製品名称	FMV-BIBLO MG75TN
モバイルマルチベイ用カバー搭載時	約 1.92kg
CD/DVD ドライブユニット搭載時	約 2.12kg

注 31　出荷時に Microsoft® Windows® XP Service Pack 2 セキュリティ強化機能搭載が適用されています。

注 32　Microsoft® Windows® XP Service Pack 2 セキュリティ強化機能搭載が適用されている必要があります。

注 33　・OS の使用できる領域は最大 3.25GB です。

・メモリ容量を 4GB にするには、搭載済みのメモリをすべて取り外し、2GB の拡張 RAM モジュールを 2 枚取り付ける必要があります。

注 34　・2005 年度基準で表示しています。

・カッコ内のアルファベットは「A は 100%以上 200%未満、AA は 200%以上 500%未満、AAA は 500%以上」の省エネ達成率であることを示します。

注 35　2007 年度基準で表示しています。

2 その他の仕様

ヘッドホンアンテナ（アンテナ部）

ワンセグチューナーが内蔵されている機種のみ

インターフェース	オーディオ	ヘッドホン：ϕ3.5mm ステレオ・ミニジャック （出力：1mW 以上、負荷インピーダンス 32Ω）

RF 変換ケーブル（ヘッドホン接続部分）

ワンセグチューナーが内蔵されている機種のみ

インターフェース	オーディオ	ヘッドホン：ϕ3.5mm ステレオ・ミニジャック （出力：1mW 以上、負荷インピーダンス 32Ω）

索　引

この本で見つからない情報は、「画面で見るマニュアル」で！

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→
「富士通サービスアシスタント（マニュアル＆サポート）」の「画面で見るマニュアル」

な行

は行

ま行

や行

ら行

わ行

Memo

Memo

Memo

Memo

Memo

Memo

**FMV-BIBLO MG75T, MG75TN, MG55T, MG55TN,
MG50T/V, MG50TN/V, MG50T, MG50TN**

ＦＭＶ 取扱ガイド

B5FJ-0501-02-00

発 行 日　2006 年 9 月
発行責任　**富士通株式会社**

〒 105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター
Printed in Japan

㋐0608-1